

群馬県立歴史博物館年報

第 4 1 号

平成 3 1 年度
/令和元年度版

群馬県立歴史博物館

目 次

I	事業の概要	1
1	展示活動	1
2	教育普及	14
3	調査・研究	27
4	資料の収集・整理	32
5	利用状況	34
II	組織及び運営	40
1	運営組織	40
2	歳出・歳入決算概要	40

I 事業の概要

1 展示活動

(1) 常設展示

ア 東国古墳文化展示室

大項目	中項目	主な展示資料
綿貫観音山古墳の世界	墳丘に立ち並ぶ埴輪群像	埴輪（あぐら男子、正座女子、三人童女、皮袋女子、振分髪男子、鍬持ち男子、鎌持ち男子、盾持ち男子、馬曳き男子、馬、帽子、盾、家）
	巨大石室と豪華な副葬品	突起付冑、金銅装大帯、金銀装頭椎大刀、銀錯龍文大刀、金銅心葉形透彫杏葉、金環、銀環、銀空玉、三累環頭大刀、矛身・石突、鉄鏃、挂甲小札、鉄籠手、鉄脛当、鉄胸当、金銅環状鏡板付轡、鉄地金銅張心葉形鏡板付轡 鉄轡、鉄地金銅張鞍金具、鉄壺鐙、鉄板張壺鐙、金銅歩揺付雲珠、金銅歩揺付辻金具、金銅歩揺付飾金具、金銅花弁形鈴付雲珠・辻金具、鉄雲珠、鉄辻金具、須恵器、土師器
	東アジアの中の上毛野	獣帯鏡、銅水瓶、歩揺付飾金具

イ 原始展示室

大項目	中項目	主な展示資料
遊動する旧石器人	岩宿遺跡の発見	岩宿遺跡土層剥ぎ取り
	狩猟採集民の道具	岩宿遺跡出土石器（複製、原品【国指定】）、石器（下触牛伏遺跡・三和工業団地Ⅰ遺跡・上白井西伊熊遺跡【県指定】・東長岡戸井口遺跡・柏倉芳見沢遺跡・市之関前田遺跡・八ヶ入遺跡ほか）
	移動生活と石器づくり	石器づくり映像、3万5千年前のムラ〔復元画〕、槍先形尖頭器（房谷戸遺跡）、局部磨製石斧（上泉唐ノ堀遺跡）、石材サンプル（黒色安山岩、黒色頁岩、黒曜石、チャート、結晶片岩、大山産石英安山岩）
成熟する縄文社会	土器文化と定住生活	縄文土器（白井北中道遺跡・波志江中屋敷遺跡・分郷八崎遺跡・中野谷松原遺跡・糸井宮前遺跡・三原田遺跡・矢太神沼遺跡・天神原遺跡・保美濃山遺跡・千網谷戸遺跡ほか）、有舌尖頭器（見溜井遺跡ほか）、石斧（小島田八日市遺跡）、石鏃（八木沢清水遺跡ほか）、石匙・石錐（糸井宮前遺跡）、ハンバーグ状炭化物（行田大道北遺跡）、凹石・石皿（糸井宮前遺跡）、打製石斧（房谷戸遺跡）、磨製石斧（中村横壁遺跡）、黒曜石原石（糸井宮前遺跡）、ヒスイ大珠（白川傘松遺跡）、中野谷松原遺跡模型
	縄文人の祈り	土偶（天神原遺跡・中栗須滝川Ⅱ遺跡）、獣面把手（上丹生屋敷山遺跡・神保植松遺跡）、土面（本遺跡）、岩版・独鈷石（中栗須滝川Ⅱ遺跡）、石棒（南蛇井増光寺遺跡）
縄文至宝の部屋		土製耳飾り（千網谷戸遺跡）【国指定】、深鉢（房谷戸遺跡）【国指定】、石槍（黒熊第5遺跡）、両尖尖頭器（黒井峯遺跡）、ヒスイ（硬玉）製大珠（高崎情報団地Ⅱ遺跡）【市指定】、「の」の字状石製品（白石大御堂遺跡）、石製垂飾（大上遺跡）、岩版（北米岡遺跡）【国指定】

農耕社会への道のり	再葬墓の世界	弥生土器（押手遺跡・沖Ⅱ遺跡【県指定】・上人見遺跡・神保植松遺跡・七日市観音前遺跡ほか）、人歯骨製垂飾（八束脛洞窟遺跡）、石鍬（安養寺森西遺跡）
	水稻農耕文化の展開	炭化米（有馬条里遺跡）、磨製石斧（南蛇井増光寺遺跡・新保遺跡）、石庖丁（荒砥宮川遺跡）、弥生土器（清里庚申塚遺跡・有馬遺跡）、木製農具（新保遺跡）、板状鉄斧（川端遺跡）、新保遺跡模型
	人の移動と社会の再編	鉄剣（有馬遺跡）、鹿角製柄頭（新保田中村前遺跡）、鉄鏃（有馬遺跡ほか）、石戈（古立東山遺跡）、銅戈（三ツ俣遺跡）【町指定】、銅鏡（長谷津遺跡）、鉄釧（石墨遺跡）、骨角歯牙製品（新保田中村前遺跡）、土器（貝沢柳町遺跡・中居町一丁目遺跡・新保遺跡・荒砥上ノ坊遺跡・東上之宮遺跡ほか）

ウ 古代展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国の開拓と古墳社会	平野の大開発と古墳の登場	三角縁神獣鏡（川井稻荷山古墳）、舟形木製品（下田遺跡）、石田川式土器（石田川遺跡）、壺形土器（前橋天神山古墳）
	巨大古墳を生み出した力	儀仗・小銅鐸（中溝・深町遺跡）、石製品（下佐野遺跡）、石製模造品（剣崎天神山古墳）、短甲・冑（鶴山古墳）、鉄鋌（上丹生屋敷山遺跡）
	馬文化と東国の要衝	韓式系土器（蔵屋敷遺跡）、鉄製轡（西大山遺跡1号古墳）、馬形土製品（高崎情報団地Ⅱ遺跡）、同向式画文帯神獣鏡（古海原前1号古墳）
	上毛野のむらとくらし	黒井峯・西組遺跡模型
東国の政治と文字文化	上毛野国から上野国へ	馬具・鉄製武器（川額軍原Ⅰ遺跡）、軒丸瓦・文字瓦「放光寺」〔複製〕（山王廃寺）、唐三彩一陶枕（多田山12号墳）「総社バーチャルツアー」〔VRコンテンツ〕
	文字を書く・読む・伝える	上野三碑模型、山上多重塔模型、石製紡錘車（矢田遺跡）、鬼瓦（黒熊中西遺跡）、文字瓦（上野国分寺跡）
	都と東北を結ぶ道	飛鳥京・藤原宮・平城宮出土木簡〔複製〕
	揺れ動く政治と社会	上野国交替実録帳〔複製〕、「上野国交替実録帳の世界」〔映像コンテンツ〕

エ 中世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国武士の原風景	鎮守府將軍の末裔	耕作痕地層剥ぎ取り標本 耕作痕遺構面剥ぎ取り標本
	赤城山南麓の開発と信仰	新田義重讓状〔複製〕、新田義重置文〔複製〕、虚空蔵菩薩懸仏、虚空蔵菩薩坐像、赤城大明神御本地、小鳥が島出土鏡、虚空蔵菩薩坐像（懸仏）
	石塔と石仏のある風景	石造不動明王立像〔複製〕、五輪塔（水輪）未製品、五輪塔（火輪）半製品、宝篋印塔（相輪欠）、宝篋印塔、五輪塔、仁治の碑〔複製〕
	世良田のにぎわい	木造月船琛海倚像、普光庵出土蔵骨器（古瀬戸瓶子）、伝新田義貞倚像、栄朝禪師倚像〔複製〕
大乱の始まり	新田氏から上杉・長尾氏へ	新田義貞と南北朝の動乱（シアター）、太平記絵巻〔複製〕、鎌倉府執事奉書（長楽寺文書）〔複製〕、鎌倉公方家寄進状（長楽寺文書）〔複製〕、長尾憲明寄進梵鐘、碁盤（伝上杉顕定所用）、釣り鐘型瓦灯、銅製花瓶、銅製火舎香炉

	越境する人と文化	青磁碗、青磁小皿、白磁小皿、白磁八角杯、渥美蓮弁文壺、銭、古瀬戸瓶子（蔵骨器）、古芦屋霰窯、天目茶碗、青磁大皿、青白磁梅瓶
	上州ブランドの黎明	小侍従書状〔複製〕、砥石、鉄黒漆塗六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、金箔押六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、雪下胴具足
戦乱から統一へ	自立する戦国領主	関東幕注文〔複製〕、上杉謙信書状
	戦国の城を探る	内耳鍋、中国産磁器片（青磁碗・白磁碗・青磁香炉）、国産陶器片（皿・壺・碗）、茶臼（上臼）、砥石、神保植松城模型
	戦国の村の歳時記	長楽寺永禄日記〔複製〕

オ 近世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
泰平の世の始まり	上野国の大名	井伊直政画像〔複製〕、金小札黒糸威具足、松平直賢黒印状
	村のくらしと新田開発	農耕図、上野国利根郡上川場村之内谷地組御検地水帳、高札 キリシタン訴人、力田遺愛碑〔複製〕
躍動する民衆	蚕糸・織物業の隆盛	蚕養育手鑑、猫絵、座繰り、関東市町定日案内、桐生書上家織物取引図、前橋藩糸商人仲間鑑札、女職蚕手業草、書上勝房像
	水陸交通の十字路	中山道分間延絵図〔複製〕、中山道御下向之図、関所手形、旅枕、高瀬舟〔模型〕、利根川図志、倉賀野宿・河岸復元模型、水陸交通の十字路・上州〔映像〕
	参詣と湯治	日本名山図会、写止両山記、諸国温泉功能鑑、上州草津温泉図
	華開く郷土文化	小八木人形、渋川往来、扇面山水画、前橋町々祭礼行列絵巻、算額
封建社会の崩壊	災害と人びとのくらし	上福島中町遺跡出土遺物、日本の諸特徴、浅間山吹出之絵図
	横浜開港と幕末の動向	水戸天狗党絵巻〔複製〕、一揆勘弁の木札、ガラス器

カ 近現代展示室

大項目	中項目	主な展示資料
群馬の文明開化	製糸業の近代化	富岡製糸場模型、碓氷社模型、富岡日記音声
	貿易と海外との交流	碓氷社生糸商標、生糸販路拡張ニ関スル意見書、ドイツ製顕微鏡、英国議会調査報告書
	群馬の教育文化	養蚕日誌、第五回内国勸業博覧会名誉金牌授与状（養蚕改良高山社）、蚕体模型、桑模型
	明治期の群馬県政	群馬県治一覧、群馬県案内、修身説約、一府十四県連合共進会絵はがき
戦争とくらし	群馬の軍事施設	高崎十五連隊真景、連隊歴史、岩鼻火薬製造所爆発事故一覧表、岩鼻火薬製造所保育証
	戦時下の生活	中島飛行機軍用機模型、木製プロペラ、東京都集団疎開資料、桑皮ズボン、アメリカ軍投下ビラ
新しい群馬の息吹き	戦後復興のシンボル	群馬交響楽団馬上ティンパニー、群馬交響楽団定期演奏会パンフレット、旧版上毛かるた、上毛かるた原画
	経済成長と変化するくらし	スバル 360、ラビットスクーター、群馬ニュース〔映像〕、アプト式第三軌条、観光絵はがき
	現代群馬のあゆみ	明治から平成にかけての県内（高崎市・館林市・神流町・嬭恋村）の写真

キ 第9回 テーマ展示

「ひなまつり展—すこやかな成長を願って—」

(ア) 期間 平成31年3月16日(土)～4月14日(日) [年度内の開催日数：12日]

(イ) 趣旨

江戸時代中期以降につくられた当館所蔵の享保雛を中心に、子どもの無事な成長を願う初節供の贈答品および県内の三月、五月節供の行事や子育ての信仰儀礼を紹介した。三月節供は農事の節目で、季節の移り変わり目でもあった。この日は上巳の節供とも呼ばれ、紙やわらで作った人形に心身の穢れを移して水辺に流す禊ぎをした。流し雛もこれと同じ系統である。本展では、三月節供と人形の関連性を示した上で、中世以来幼児の形代の意味を持った人形のホウコ（這う子）、江戸時代以降に普及した女兒の成長を祝う雛人形、人形に関連する信仰儀礼の便所神、作男作女を紹介した。また子育ての儀礼に関しては、妊娠祈願の底抜け柄杓、三月節供と五月節供の人形、初山まいりのうちわなどを展示した。最後に、初節供の雛人形や鯉のぼりの現代的な活用、そしてこれらの贈答品への感謝と供養の実態を紹介した。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

【雛人形とヒトガタ】

享保雛（安中市）、雛道具（高崎市下豊岡町）、ホウコ（渋川市北橘町下箱田）、オヘーナ（利根郡みなかみ町）、便所神おはん・長右衛門（利根郡みなかみ町月夜野）、道祖神（吾妻郡中之条町世立）、作男作女（吾妻郡東吾妻町松谷）

【年中行事とひな祭り】

桑取雛（多野郡神流町）、おひながゆ（多野郡上野村乙父）、玩具絵 手遊びづくし、引札雛人形手遊び問屋（高崎市田町）

【子どもの誕生と子育ての儀礼】

産泰神社の底抜け柄杓（前橋市下大屋町）、初山まいりのうちわ（邑楽郡千代田町）、節供図（桐生市）、五月雛 加藤清正（前橋市文京町）、高崎だるま（高崎市下豊岡町）

【雛人形と鯉のぼりをめぐる現代】

橋本貞秀 版画 伊香保八景 関屋の蛍、郷土玩具 薩摩雛 福田コレクション、伊香保温泉 泉石段ひなまつり（渋川市伊香保町）、かんな鯉のぼり祭り（多野郡神流町万場）

(カ) 展示資料点数：143点

(キ) 年度内の観覧者数：891人（一日平均；74人）

ク 第10回テーマ展示

「ポスターと図録でたどる企画展40年の軌跡」

(ア) 期間 平成31年4月20日(土)～令和元年6月23日(日) [開催日数：57日]

(イ) 趣旨

昭和54（1979）年に開館した群馬県立歴史博物館は、開館以降常設展のみならず、数多くの企画展を積み重ね、本年度で開館40周年の記念すべき年を迎える。平成28（2016）年のリニューアルオープンを機に、常設展は外部の有識者の意見を採り入れて大きく変更したが、企画展もまたグランドオープンした同29（2017）年の秋から再開し、昨年度末で合計97回（会期中に第98回企画展も開催）を数えることとなった。

そこで、本テーマ展示では開館40周年を記念し、これまでの企画展で制作したポスター及び展示図録を一堂に展示するとともに、関連する考古・歴史・民俗・美術工芸の各部門の資料も展示することで、97回の企画展の軌跡をたどることとする。昭和から平成、そして新しい時代を迎えていく今、ポスターや展示図録からその時代の移り変わりを感じていただきながら、40年にわたる当館のあゆみを紹介した。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

【第1章 開館、昭和から平成へ】

群馬県立博物館表札、ブルーノ・タウト関係資料

【第2章 平成時代、21世紀へ】

箆笥、塚廻り古墳出土埴輪（文化庁蔵、当館保管）

【第3章 リニューアルオープン、そして新しい時代へ】

上毛かるた原画

※ 展示図録閲覧コーナー設置

※ 「もう一度見たい！」企画展人気投票パネル設置

(カ) 展示資料点数：200点

(キ) 観覧者数：13,931人（一日平均；244人）

ケ 第11回テーマ展示

「月岡芳年—新形三十六怪撰—」

(ア) 期間 令和元年7月6日(土)～9月1日(日) [開催日数：51日]

(イ) 趣旨

歌川国芳の門下で幕末から明治にかけて活躍した人気の浮世絵師・月岡芳年（1839～92）。「最後の浮世絵師」ともいわれる芳年は武者絵、歴史画、美人画といったさまざまなジャンルの作品を制作した。とくに歴史や小説、芝居などの怪奇な物語を題材とした妖怪画の制作は生涯にわたって力を注ぎ、晩年には妖怪や幽霊の登場する故事や伝説を主題にした全36点からなる「新形三十六怪撰」を刊行した。

本展では本館が所蔵する「新形三十六怪撰」を一挙公開するとともに、それぞれの作品の主題となった物語について紹介した。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示資料

目録、貞信公夜宮中に怪を懼しむの図、さぎむすめ、武田勝千代月夜に老狸を撃の図、大森彦七道に怪異に逢ふ図、清玄の霊桜姫を慕ふの図、老婆鬼腕を持去る図、鬼若丸池中に鯉魚を窺ふ図、小町桜の精、為朝の武威痘鬼神を退く図、内裏に猪早太鶴を刺図、清姫日高川に蛇躰と成る図、蒲生貞秀臣土岐元貞甲州猪鼻山魔王投倒ノ図、鍾馗夢中捉鬼之図、地獄太夫悟道の図、藤原実方の執心雀となるの図、平惟茂戸隠山に悪鬼を退治す図、皿やしきお菊の霊、藤原秀郷龍宮城蜈蚣を射るの図、布引滝悪源太義平霊討難波次郎、葛の葉きつね童子にわかるるの図、仁田忠常洞中に奇異を見る図、清盛福原に数百の人頭を見る図、奈須野原殺生石之図、業平、三井寺頼阿闍梨悪念鼠と変ずる図、蘭丸蘇鉄之怪ヲ見ル図、ほたむとうろう、大物之浦ニ霊平知盛海上に出現之図、小早川隆景彦山ノ天狗問答之図、二十四孝狐火之図、宗祇、源頼光土蜘蛛ヲ切ル図、節婦の霊滝に掛る図、茂林寺の文福茶釜、四ツ谷怪談、おもみつゝら

- (カ) 展示資料点数：37点
(キ) 観覧者数：17,471人（一日平均；343人）

コ 第12回テーマ展示 「くらしのうつりかわり1」

(ア) 期間 令和元年9月14日(土)～12月1日(日)〔開催日数：67日〕

(イ) 趣旨

当館が所蔵する昭和時代を中心とする生活道具を展示し、あわせて当時の生活の場を一部再現したり、生活道具を体験したりできる場を提供することで、時代とともに変化してきた生活の様子について紹介する。また、季節にあわせて使われていた道具を展示し、当時の人々の季節ごとの生活の様子や道具の工夫などを紹介する。

小学校3・4年生の社会科学習内容「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」に基づく学習プログラム「むかしの道具調べ」を学校団体向けに実施する。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

【昭和30年頃のくらし】

かまど、おかま、おひつ、蚊帳、足踏みミシン、たらい、洗濯板 ほか

【昭和50年代のくらし】

二層式洗濯機、電気釜、ちゃぶ台、黒電話、茶箆筒、カラーテレビ ほか

【夏のくらしの道具】

はえ取り器、蠅帳、氷冷蔵庫、うちわ、扇風機、ほか

【聴く・見る道具】

蓄音機、ステレオ、真空管ラジオ、トランジスタラジオ、白黒テレビ ほか

(カ) 展示資料点数：47点

(キ) 観覧者数：24,816人（一日平均；370人）

サ 第13回テーマ展示 「くらしのうつりかわり2」

(ア) 期間 令和元年12月14日(土)～令和2年2月24日(月・振休)〔開催日数：57日〕

(イ) 趣旨 (第12回に同じ。)

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

【昭和30年頃のくらし】

かまど、おかま、おひつ、かいまき、足踏みミシン、たらい、洗濯板 ほか

【昭和50年代のくらし】

二層式洗濯機、電気釜、電気ごたつ、黒電話、茶箆筒、カラーテレビ ほか

【冬のくらしの道具】

置きごたつ、あんか、豆炭あんか、電気あんか、湯たんぽ、火鉢 ほか

【縫う・しわをのばす道具】

くけ台、針箱、手回しミシン、こて、火のし、炭火アイロン、電気アイロン ほか

【あかりの道具】

あんどん、燭台、手燭、がんどう、石油ランプ、電灯 ほか

(カ) 展示資料点数：51点

(キ) 観覧者数：10,215人（一日平均；179人）

シ 第14回テーマ展示

「新田猫絵展」

(ア) 期間 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開館できなかったため、代替措置としてSNSによる発信を行った。

(イ) 趣旨

かつて群馬県は全国でも有数の養蚕県でした。短期間で現金収入を得ることができる養蚕は農家にとって家計を支える存在として大きな役割を担い、蚕を「オカイコサマ」あるいは「オコサマ」とよび大切にしてきました。しかし、生き物である蚕は天候や病気の影響を受けやすく、飼育技術の改良がなされる一方、人々は神に繭の豊作を祈りました。豊蚕祈願のひとつに蚕室等に猫の絵を貼り、蚕や繭を食い荒らすネズミを除ける呪いとする風習がありました。

本展ではネズミ除けの効果が高く、養蚕の神様として信仰された「新田猫」とよばれる新田岩松氏の歴代当主が4代にわたり描いた墨絵の猫を中心に展示をします。また錦絵に見る養蚕の風景、養蚕の守り神とされた各種の資料をあわせて紹介することで群馬県の養蚕文化の一端に触れる機会とします。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

【1 養蚕と猫】

養蚕須知、錦絵「皇国養蚕図会」

【2 新田猫】

① 4代の猫絵・・・義寄（温純）、徳純、道純、俊純

② 猫絵いろいろ・・・能純、貞康、勝利、新田万治郎、無銘

【3 蚕の守り神】

養蚕御札、お諏訪様の竹筒、榛名神社チマキ、高崎だるま、天狗面、絹笠明神初絵、オキヌサン人形 ほか

(カ) 展示資料点数：58点

(キ) 観覧者数：臨時休館中のため、観覧者なし

(2) 企画展示・特別展示

ア 開館40周年記念 第98回企画展 「大新田氏展」

(ア) 期間 平成31年4月27日(土)～令和元年6月16日(日) [開催日数：45日]

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成

【第一章 義貞の勇姿】

国宝 赤糸威鎧(櫛引八幡宮)、重文 鉄製銀象嵌兜鉢(藤島神社)

【第二章 新田氏から岩松氏へ】

不動明王立像(総持寺)、伊達貞綱軍忠状并上野国宣(仙台市博物館)

【第三章 新田氏の故郷―世良田・安養寺・別所・岩松―】

重文 大谷道海寄進状案(長楽寺)、木像二天像(明王院)

(エ) 展示資料点数：82点

(オ) 頒布品・出版物等

図録：A4判、152頁(税込920円)

リーフレット：A4判二つ折り(観覧者配付)

(カ) 関連行事〔講師名は、敬称略・順不同〕

■連続講演会

第1回 4月28日(日) 講師 山本 隆志(筑波大学名誉教授)

第2回 5月19日(日) 講師 久保田 順一(群馬県文化財保護審議会専門委員)

第3回 6月9日(日) 講師 阿部 能久(鎌倉国宝館学芸員)

■鼎談 歴ドルと研究者が語る新田義貞 6月1日(土)

パネラー 小日向 えり(サンミュージックプロダクション歴史アイドル)

築瀬 大輔(群馬県立女子大学准教授)

田中 大喜(国立歴史民俗博物館准教授)

■講演 講談師の語る太平記の世界

5月26日(日) 講師 神田 陽子(日本講談協会 講談師)

■見学会 新田荘遺跡を歩く

4月29日(月・祝) 講師 須永 光一(太田市教育委員会教育部参事)

■共催事業 群馬県立女子大学・第37回群馬学連続シンポジウム

「新田源氏研究の最前線―ぐんま源氏ブランドの潮流―」

5月11日(土) 玉村町文化センター 大ホール

■ギャラリートーク 当館学芸員による展示解説 4/27(土)、5/4(土・祝)、5/18(土)、
5/25(土)、6/8(土)、6/15(土)

■解説員による3品解説 解説員によって代表的な資料3品を解説

5/9(木)、5/16(木)、5/23(木)、5/30(木)、

6/6(木)、6/13(木)

(キ) 観覧者数：11,618人(一日平均；258人)

イ 開館40周年記念 第99回企画展

「生まれ！ぐんまのはにわたち～日本一の埴輪県～」

(ア) 期間 令和元年7月13日(土)～9月1日(日) [開催日数：45日]

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成

【第1部 はにわとの出会い ～ようこそ群馬はにわワールドへ～】

鷹を操る男子 オクマン山古墳 (太田市)

人が乗る馬形埴輪 高林西原古墳群 (太田市)

馬に乗る盛装の男子 雷電神社跡古墳 (伊勢崎市)

【第2部 はにわ発掘ヒストリー】

家形埴輪 釜ノ口遺跡 (伊勢崎市)

【第3部 ご当地自慢のはにわ ～県内各地のはにわ、勢ぞろい～】

馬引き 小泉大塚越3号墳 (玉村町)

笑う埴輪 下毛田遺跡 (藤岡市)

挂甲武人 後閑3号墳 (安中市)

帽子をかぶる男 富岡5号墳 (富岡市)

猪形埴輪 保渡田Ⅶ遺跡 (高崎市)

女子埴輪 伊勢山遺跡4号墳 (前橋市)

【第4部 はにわと群馬 ～はにわを知ると群馬がわかる～】

馬形埴輪 白藤Ⅴ-4号墳 (前橋市)

馬形埴輪 津久田甲子塚古墳 (渋川市)

(エ) 展示資料点数：116点

(オ) 頒布品・出版物等

図録：A4判、142頁 (税込840円)

リーフレット：A4判二つ折り (観覧者配付)

(カ) 関連行事 [講師名は、敬称略・順不同]

■連続講演会

会場：群馬県立歴史博物館視聴覚室

定員：先着144名 (各講演会は1ヶ月前より電話予約)

実施日及び講師：

①7月14日(日) 13:00～16:00

「群馬の埴輪、畿内の埴輪」

講師 廣瀬 覚 (奈良文化財研究所主任研究員)

右島 和夫 (当館館長)

②8月3日(土) 13:30～16:00

「掘り出された群馬の埴輪世界」

講師 小川 卓也 (前橋市教育委員会)

大野 義人 (高崎市教育委員会)

横澤 真一 (伊勢崎市教育委員会)

岩松 大輔 (太田市教育委員会)

平石 冬馬 (渋川市教育委員会)

③8月18日(日) 13:30～15:30

「東国における双脚人物埴輪」

講師 日高 慎 (東京学芸大学教授)

④8月25日(日) 13:30～15:30

「人が乗る馬形埴輪」

講師 南雲 芳昭(高崎市観音塚考古資料館館長)

「群馬地域の動物埴輪」

講師 飯田 浩光(当館学芸員)

■スペシャル・ギャラリートーク「あのはにわ、ここだけの話」

はにわにくわしい地元の研究者が、おススメはにわの魅力・ポイントを、わかりやすく解説

会場：群馬県立歴史博物館 企画展示室

時間：11:30～12:00、14:00～14:30(各日とも同内容を2回)

※予約不要(当日企画展観覧券要)

①7月17日(水) 今城 未知(群馬県教育委員会)

②8月 6日(火) 清水 司(富岡市教育委員会)

③8月 8日(木) 井上 慎也(安中市教育委員会)

④8月14日(水) 中島 直樹(玉村町教育委員会)

⑤8月21日(水) 板垣 詩乃((公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団)

⑥8月28日(水) 齋藤 直樹(藤岡市教育委員会)

■ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説

会場：群馬県立歴史博物館 企画展示室

時間：11:00～12:00

※予約不要(当日企画展観覧券要)

7/15(月・祝)、8/24(土)、8/31(土)

■はにわにさわってみよう

学芸員立会いのもとで、実物のはにわにふれる

会場：群馬県立歴史博物館 企画展示室

時間：15:00～15:30

※予約不要(当日企画展観覧券要)

8/2(金)、8/20(火)、8/28(水)・・・はにわの日

■関連ワークショップ

はにわをモチーフにした簡単な工作

7/13(土)～15(月・祝)、7/20(土)～9/1(日)の開館日毎日

会場：群馬県立歴史博物館 学習室

時間：10:30～15:30

※予約不要

(キ) 観覧者数：16,154人(一日平均；359人)

ウ 開館40周年記念 第100回企画展

「ハート形土偶 大集合!! -縄文のかたち・美、そして岡本太郎-」

(ア) 期間 令和元年9月28日(土)～12月1日(日) [開催日数：55日]

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成

【プロローグ ハート形土偶の発見】

【第1章 土偶誕生からハート形土偶前夜まで】

(項目) 最古の土偶／早期の土偶／前期の土偶／中期の土偶

【第2章 ハート形土偶とその周辺】

(項目) 東北地方の土偶／ハート形土偶の変遷／ハート形土偶の頃の土器
仮面土偶／筒形土偶

【第3章 山形土偶とみみずく土偶-ハート形以降の土偶-】

(項目) 山形土偶／みみずく土偶／縄文人の祈り

〈速報展示1〉 北からやって来た遮光器土偶 -東吾妻町唐堀遺跡-

〈速報展示2〉 最後の土偶 -東吾妻町万木沢B遺跡の土偶-

【第4章 土偶と美】

【第5章 岡本太郎と縄文】

【エピローグ 土偶とは何か】

(項目) 埋められた土偶／壊された土偶／土偶はどのように使われたのか

(エ) 展示資料点数：275点

(オ) 頒布品・出版物等

図録：A4判、136頁(税込1,000円)

リーフレット：A4判二つ折り(観覧者配付)

(カ) 関連行事 [講師名は、敬称略・順不同]

■連続講演会(全4回)

第1回 9月29日(日) 講師：設楽 博己(東京大学大学院人文社会系研究科教授)
タイトル：「土偶とは何か」

第2回 10月14日(月・祝) 講師：上野 修一(大田原市なす風土記の丘湯津上資料館館長)
タイトル：「ハート形土偶の成立と変遷」

第3回 10月27日(日) 講師：春原 史寛(武蔵野美術大学芸術文化学科准教授)
タイトル：「現代日本における土偶・縄文ブームと岡本太郎の
縄文土器論」

第4回 11月17日(日) 講師：原田 昌幸(文化庁主任文化財調査官)
タイトル：「土偶のかたちの面白さ」

■講演会&対談 with 右島館長 11月9日(土)

〈講演会〉講師：大杉 浩司(川崎市岡本太郎美術館学芸課長)
タイトル：「人間 岡本太郎」

〈対談 with 右島館長〉

対談：大杉 浩司、右島 和夫

タイトル：「岡本太郎と縄文世界」

■トークイベント

①ようこそ！はじめての土偶ワールドへ

11月4日(月・振休) 講師：譽田 亜紀子(文筆家・土偶女子)

②Jomon太鼓をたたこう！松本ちはやコンサート “とび出せ！縄文のリズム”

11月10日(日) 出演：松本 ちはや(打楽器奏者)

■ギャラリートーク(6回)学芸員による展示解説

9/28(土)、10/5(土)、10/26(土)、11/2(土)、11/24(日)、11/30(土)

■解説員による3品解説 解説員による展示資料解説 1日に午前・午後2回

10/8(火)、10/18(金)、10/31(木)、11/12(火)、11/22(金)、11/29(金)

(キ) 観覧者数：21,859人(一日平均；397人)

エ 特別収蔵品展

「日本画の美」

(ア) 期間 令和2年1月4日(土)～2月24日(月・振休) [開催日数：45日]

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成

【序章 島霞谷の日本画】

県重文 島霞谷「貼交屏風」、「草花図枕屏風」いずれも個人蔵・当館寄託

【第1章 屏風・画帖・扇面の美】

伝狩野栄信「龍虎図」、金井烏洲「滝に松月図」、いずれも当館蔵

【第2章 絵巻の美】

三論画詞、俵藤太絵巻、鉄板黒漆塗紺糸威最上胴具足、いずれも当館蔵

【第3章 掛軸の美】

県重文 秋草花卉図(酒井抱一、浄運寺蔵・当館寄託)、田崎草雲「蜀道行旅之図」(当館)、磯部草丘「奔端」(当館)

(エ) 展示資料点数：68点

(オ) 頒布品・出版物等

リーフレット：A4判二つ折り(観覧者配付)

(カ) 関連行事

■スペシャルギャラリートーク(日本美術の専門家による展示解説)

1/11(土)・2/22(土) 13:30～ 太田 佳鈴(群馬県立近代美術館学芸員)

■ギャラリートーク 当館学芸員による展示解説

1/25(土)・2/8(土) 13:30～

(キ) 観覧者数：9,343人(一日平均；208人)

(3) 展示解説

解説員による常設展示解説業務では、定時解説及び予約解説を実施した。企画展開催時には、学芸員による解説（ギャラリートーク）のほか、解説員による展示資料解説（三品解説）を行った。また、解説員が手書きで作成した「展示資料Q&A」を展示資料の前に設置し、来館者が自由に持ち帰ることができるようにした。

解説実施回数

	定時解説		予約解説		三品解説		学芸員解説		解説計		質問解説 件数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
4月	22	67	0	0			3	54	25	121	50
5月	27	162	0	0	8	74	6	138	41	374	142
6月	25	104	4	58	5	67	4	86	38	315	79
7月	23	131	2	54			7	143	32	328	133
8月	20	103	1	25			13	272	34	400	206
9月	8	24	2	37			3	42	13	103	50
10月	31	115	1	19	6	72	7	144	45	350	175
11月	28	129	3	84	6	145	5	132	42	490	147
12月	7	38	2	46			2	42	11	126	21
1月	18	49	2	53			4	68	24	170	92
2月	19	84	2	34			5	68	26	186	47
3月	0	0	0	0			0	0	0	0	0
合計	228	1,006	19	410	25	358	59	1,189	331	2,963	1,142

* 定時解説は、1日2回（午前11時～、午後2時30分～）30分程度行う常設展示解説

* 予約解説は、団体等の事前申込による解説希望に対して解説員が行う常設展示解説

* 学芸員解説は、学芸員が行う常設展示解説及び企画展示解説（ギャラリートーク）

* 質問解説は、解説員が観覧者の質問に答えたり、説明したりするもの

展示資料Q&A配布枚数

(枚)

VOL.	第98回企画展	第99回企画展	第100回企画展
1	3,525	3,327	5,796
2	2,855	3,039	5,140
3	3,057	3,794	5,554
4	1,957	2,920	—
5	1,872	3,560	—
6	1,484	2,810	—
7	1,461	2,804	—
合計	16,211	22,254	16,490

2 教育普及

(1) 学校教育との連携

「たくましく生きる力をはぐくむ～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～」(平成31年度群馬県学校教育の指針)を基本目標とする学校に対して、次のとおり事業を実施し学校教育との連携強化に努めた。

ア 学校団体の利用促進のための広報活動

県内小・中・特別支援学校および県外小学校等に、学校向け利用案内パンフレットを配布した。また、第12回・第13回テーマ展示「むかしの暮らし」のチラシを社会科の学習内容とリンクする県内の小学校3・4年生全員に配布し、歴史博物館の利用を呼びかけた。

イ 学校向け体験・学習プログラムの実施

(ア) 歴史を楽しむためのワークブックの活用

展示室を見学する小学校中学年向けに「れきしたんけん」、小学校高学年向けに「はにわ・古墳探検」の2種類のワークブックを作成し、職員・解説員がわかりやすく説明した。

(イ) 「むかしの道具調べ」の実施

テーマ展示室で、「むかしの道具カード」を用いた調べ学習を実施した。

(ウ) 「浮世絵多色刷り」の実施

学習室で、群馬の宿場町を描いた浮世絵多色刷りの体験学習を実施した。

(エ) 「石うす体験」の実施

学習室で、石うすを実際に使用して米粉をつくる体験学習を実施した。

(オ) 「くらしと明かり」の実施

学習室で、石油ランプや白熱灯などの明るさを比べる体験学習を実施した。

(カ) 「火おこし体験」の実施

中庭で、きりもみ式や舞ぎり式による火おこしの体験学習を実施した。

ウ 臨時休館日の学校団体受け入れ

展示替え等の臨時休館日には、学校団体のみ受け入れ、展示見学を利用できるようにした。

エ 職場体験の生徒受け入れ

体験学習補助、発送作業、受付等の業務体験の機会を提供した。

オ 近代美術館との連携

隣接する近代美術館の学校向けプログラムや展示見学とローテーションを組んで両館を利用できるようにした。

カ 小学校への指導者派遣「出張！浮世絵体験」の実施

小学6年生向けに浮世絵多色刷り体験を通して歴史を学べるプログラムを用意し、11校に指導者を派遣した (p. 35 5 (1) オ 参照)。

キ 学校等利用実績

区分	県内		県外		計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
幼稚園・保育園	2	68	0	0	2	68
小学校	(1) 79	4,153	67	4,733	146	8,886
中学校	(2) 4	50	0	0	4	50
高等学校・大学等	(3) 10	155	3	149	13	304
計	95	4,426	70	4,882	165	9,308

※(1)に5校、(2)に1校、(3)に1校、特別支援学校を含む。

※前ページ カ「出張！浮世絵体験」の実績は除く。

(2) セミナー

ア 企画展に伴う講演会等

種類	演題等	講師	期日	参加者数	小計	
第98回企画展	連続講演会	新田義貞の登場 山本 隆志 (筑波大学名誉教授)	4月28日(日)	136	1,178	
		新田義貞の子孫たち 久保田 順一 (群馬県文化財保護審議会専門委員)	5月19日(日)	138		
		新田義貞の鎌倉攻めと鎌倉滞在 阿部 能久 (鎌倉国宝館学芸員)	6月9日(日)	124		
	群馬学連続シンポジウム	新田源氏研究の最前線 —ぐんま源氏ブランドの潮流— (群馬県立女子大学との共催事業)	岡野 友彦 (皇學館大学教授) 田中 大喜 (国立歴史民俗博物館准教授) 須藤 聡 (群馬県立文書館指導主事) 築瀬 大輔 (群馬県立女子大学准教授) 森田 真一 (当館学芸員)	5月11日(土)		510
	講演	講師の語る太平記の世界 神田 陽子 (講師)	5月26日(日)	148		
	鼎談	歴ドルと研究者が語る新田義貞 小日向 えり (歴史アイドル) 築瀬 大輔 (群馬県立女子大学准教授) 田中 大喜 (国立歴史民俗博物館准教授)	6月1日(土)	122		
第99回企画展	連続講演会	群馬の埴輪、畿内の埴輪 廣瀬 覚 (奈良文化財研究所主任研究員) 右島 和夫 (当館館長)	7月14日(日)	136		
		(a) 掘り出された群馬の埴輪世界 小川 卓也 (前橋市教育委員会) 大野 義人 (高崎市教育委員会) 横澤 真一 (伊勢崎市教育委員会) 岩松 大輔 (太田市教育委員会) 平石 冬馬 (渋川市教育委員会)	8月3日(土)	140		

種類	演題等	講師	期日	参加者数	小計		
第99回企画展	(b) 連続講演会	東国における双脚人物埴輪 (東京学芸大学教授)	日高 慎 8月18日(日)	119	505 (a+b)		
		人が乗る馬形埴輪 (高崎市観音塚考古資料館館長)	南雲 芳昭 8月25日(日)	110			
		群馬地域の動物埴輪 (当館学芸員)	飯田 浩光				
第100回企画展	連続講演会	土偶とは何か (東京大学大学院教授)	設楽 博己 9月29日(日)	145	735		
		ハート形土偶の成立と変遷 (大田原市なす風土記の丘湯津上資料館館長)	上野 修一 10月14日 (月・祝)	130			
		現代日本における土偶・縄文ブームと岡本太郎の縄文土器論 (武蔵野美術大学准教授)	春原 史寛 10月27日(日)	77			
		土偶のかたちの面白さ (文化庁主任文化財調査官)	原田 昌幸 11月17日(日)	133			
	講演会・対談	講演会「人間 岡本太郎」 (川崎市岡本太郎美術館学芸課長)	大杉 浩司	11月9日(土)		63	
		対談「岡本太郎と縄文世界」 (当館館長)	大杉 浩司 右島 和夫				
	イベント	ようこそ！はじめての土偶ワールドへ (文筆家・土偶女子)	譽田 亜紀子	11月4日 (月・振休)		86	
		Jomon太鼓をたたこう！松本ちはやコンサート“とび出せ！縄文のリズム” (打楽器奏者)	松本 ちはや	11月10日(日)		101	
	計					2,418人	

[敬称略・順不同]

イ れきはくセミナー

種 類	演 題 等	講 師	期 日	参加者数	小 計
東古墳 文研 化究 講最 座前 線	① 考古学の視点から見た伊勢神宮の成立	穂積 裕昌 (三重県埋蔵文化財センター)	6月15日(土)	123	334
	② 綿貫観音山古墳と6世紀の須恵器	藤野 一之 (埼玉県坂戸市立歴史民俗資料館)	9月21日(土)	101	
	③ 墳丘構築技術から探る群馬の古墳	青木 敬 (國學院大学准教授)	12月15日(日)	110	
モーニング講座「上州の戦国人」	① 内藤昌月	青木 裕美 (当館学芸員)	6月20日(木)	151	1,149
	② 宇津木氏久	築瀬 大輔 (群馬県立女子大学准教授)	7月18日(木)	139	
	③ 上杉憲実	森田 真一 (当館学芸員)	8月15日(木)	146	
	④ 富岡秀高	久保 康顕 (日本山岳修験学会評議委員)	9月19日(木)	127	
	⑤ 佐野周防守・大炊助	須藤 聡 (群馬県立文書館指導主事)	10月17日(木)	133	
	⑥ 真田信之	山中 さゆり (真田宝物館学芸員)	11月21日(木)	150	
	⑦ 長尾顕長	青木 裕美 (当館学芸員)	12月19日(木)	153	
	⑧ 大道寺政繁	飯森 康広 (群馬県教育委員会)	1月16日(木)	150	
				計	1,483人

[敬称略・順不同]

ウ 開館40周年記念講演会・シンポジウム

種 類	演 題 等	講 師	期 日	参加者数	計
講演会	東国文化の現在と未来	土生田 純之 (専修大学教授) 千賀 久 (奈良県葛城市歴史 博物館館長) 右島 和夫 (当館館長)	10月20日(日)	116	227人
シンポジウム	考古学からみた東アジアの馬文化	前澤 和之 (群馬県地域文化 研究協議会) 丸山 真史 (東海大学) 青柳 泰介 (奈良県立橿原考古学 研究所附属博物館) 諫早 直人 (京都府立大学) 菊地 大樹 (総合研究大学院大学) 右島 和夫 (当館館長) 深澤 敦仁 (当館学芸係長)	2月2日(日)	111	

[敬称略・順不同]

(3) ワークショップ

ア 体験プログラムの目的

- ・自らの体を動かし、五感を通して挑戦したり製作したりすることで、より深い達成感や感動を味わい、生きる力を育成する。
- ・過去の人間の生き方や願い、生活の知恵に根ざした伝統的な風習を体験的に学ぶことで、祖先への畏敬と親近感を深め、歴史や民俗に対する興味・関心を高める。
- ・参加体験型の学習形態により、体験者と職員・家族等とのコミュニケーションを通して、主体的に楽しく学習できる博物館を目指す。
- ・展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験プログラム等の形態と実施場所

個人の来館者に対応した体験（れきはくワークショップ等）……学習室・展示室・学習ホール

ウ 体験プログラム等の内容と体験者数(平成31年度/令和元年度)

【通年ワークショップ】 土曜・日曜・祝日 10時30分～15時30分

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
まが玉作り（有料）	石を削り勾玉をすることで、古代の人びとの思いや技術への関心を高める。	1,901人

【れきはくワークショップ】 10時30分～15時30分

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
かざぐるま作り 4/6～21の土・日	かざぐるま作りを通して、昔ながらのおもちゃ作りやその仕組みへの関心を高める。	815人
大きなおり紙かぶと作り 4/27～5/12の土・日・祝日	大鎧をイメージしたオリジナルかぶとを大判色紙で折ることで、甲冑への関心を高める。	2,545人
組ひもストラップ作り 5/18～6/23の土・日	毛糸を使って組ひもを編み、甲冑の小札をつなぐために使われていた技法であることを知らせることで、甲冑への関心を高める。	945人
はにわバイザー作り 7/6～15の土・日・祝日 8/13～18	当館所蔵の綿貫観音山古墳出土埴輪をモチーフにしたサンバイザー作りを通して、埴輪に対する関心を高める。	898人
カラフルはにわキーホルダー作り 7/20～28、8/27～9/1	埴輪のユニークな造形に着目しながらキーホルダー作りを行うことで、埴輪に対する関心を高める。	3,020人
ポンポンこぶんワッペン作り 7/30～8/4、8/20～8/25	前方後円墳の形に着目させ、古墳の形をかたどったワッペン作りを行うことで、古墳に対する関心を高める。	1,737人
ゆらゆらはにわ作り 8/6～8/12	当館所蔵の綿貫観音山古墳出土埴輪をモチーフにしたおきあがりこぼし作りを通して、埴輪への関心を高める。	945人

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
プラ板土偶バッジ作り 9/14～10/6の土・日・祝日	土偶の造形や文様に着目しながら土偶をモチーフにしたプラ板バッジを作ることで、土偶に対する関心を高める。	1,333人
ぐるぐる土偶しおり作り 10/12～10/27の土・日・祝日 10/28	土偶の造形や文様に着目しながら土偶をモチーフにしたしおり作りを行うことで、土偶に対する関心を高める。	1,795人
ハート形土偶マグネット作り 11/2～12/1の土・日・祝日	土偶の造形や文様に着目しながら土偶をモチーフにしたおゆまるマグネットを作ることで、土偶に対する関心を高める。	2,929人
ひっくりかえる作り 12/14～22の土・日 12/24～27	ぴよんぴよん飛び跳ねる動きが楽しいひっくりかえるを作って遊ぶことで、昭和の暮らしや文化への関心を高める。	563人
ミニ凧 1/4～1/19の土・日・祝日	紙やストローを使ってお正月にぴったりの凧を作って遊ぶことで、昭和の暮らしや文化への関心を高める。	1,383人
牛乳パック竹とんぼ作り 1/25～2/9の土・日	牛乳パックとストローを使った竹とんぼを作って遊ぶことで、昭和の暮らしや文化への関心を高める。	924人
ブンブンごま作り 2/11～24の土・日・祝日	コースターとたこ糸でよく回るブンブンごまを作って遊ぶことで、昭和の暮らしや文化への関心を高める。	1,102人

【れきはくワークショップ+】 10時30分～15時30分

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
組ひもブレスレット作り 5/18 (土)	資料の観察と組ひもブレスレット作りを組み合わせたワークショップを行うことで、展示資料への理解を深める。	7人
浮世絵多色刷り体験 6/22 (土)	資料の観察と浮世絵多色刷り体験を組み合わせたワークショップを行うことで、展示資料への理解を深める。	7人
おどるはにわ作り 7/20 (土)	資料の観察とおどるはにわ作りを組み合わせたワークショップを行うことで、展示資料への理解を深める。	12人
ハート形土偶作り 10/19 (土)・11/16 (土)	資料の観察とハート形土偶作りを組み合わせたワークショップを行うことで、展示資料への理解を深める。	23人
縄文編みコースター作り 1/18 (土)	資料の観察と縄文編みコースター作りを組み合わせたワークショップを行うことで、展示資料への理解を深める。	8人
和綴じ本作り 2/15 (土)	資料の観察と和綴じ本作りを組み合わせたワークショップを行うことで、展示資料への理解を深める。	10人

【高校生ワークショップ】 10時00分～12時00分

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	験者数
考古学ワークショップ「埴輪片（土器片）からのメッセージ」 2/2（日）	卒業後の進路を考える高校生を対象に、考古学の視点から歴史にアプローチする方法の一端を紹介することで、将来の歴史研究や進学等についてイメージを広げてもらうきっかけとする。	13人
歴史学ワークショップ「戦国武将のメッセージ」 2/9（日）	卒業後の進路を考える高校生を対象に、歴史学の視点から歴史にアプローチする方法の一端を紹介することで、将来の歴史研究や進学等についてイメージを広げてもらうきっかけとする。	9人

体験学習 実施人数合計	22,924人
-------------	---------

エ 指導者

職員の他、一般県民から募集した『体験学習ボランティア』の協力により実施している。

(4) イベント

ア イベントの目的

- ①新規利用者の獲得
- ②企画展等の関連行事
- ③入館者の満足度向上
- ④利用者のニーズへの対応
- ⑤記念行事や周年行事
- ⑥地域との連携
- ⑦博物館の広報宣伝

イ 館内イベントの内容と参加者数

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	参加者数
新田荘を歩く 4/29	春の企画展「大新田氏展」に関連した新田荘遺跡を歩く見学会。	31人 【1日間】
夏のれきはく はにわコレクション 7/20～9/1の開館日毎日	夏の企画展「集まれ！ぐんまのはにわたち」に展示されている様々な形象埴輪について、ワークシートを使って見つけながら鑑賞するイベントを実施することで、東国文化の価値をわかりやすく発信し、郷土への誇りを高める。東国文化発信強化事業。	7,509人 【39日間】
はにわの森をガーランドで飾ろう 8/1～8/18	ホールをはにわの森に見立て、ガーランド（飾り）で森を飾り立てる参加型イベント。	1,005人 【17日間】
はにわにさわってみよう 8/2、8/20、8/28	夏の企画展「集まれ！ぐんまのはにわたち」に関連して、実物の埴輪を触って体験できるイベント。	165人 【3日間】

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	参加者数
冬のれきはく 日本画でみつけ！ 1/4～2/24の土日祝日	特別収蔵品展「日本画の美」に展示されている掛軸や絵巻、屏風などについて、クイズを解きながら鑑賞するクイズラリーを実施することで、資料の見方や楽しみ方を提案し、博物館への愛着を深める。	2,124人 【19日間】
合計		10,834人

ウ 館外イベントの内容

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	参加者数
群馬古墳フェスタ 6/2	文化振興課東国文化係への協力。はにわバイザー製作体験。東国文化発信。	380人
スマーク伊勢崎PRブース 7/26	イベント会社からの参加依頼。古代人衣装の展示、土器・埴輪パズル、おゆるまが玉作り体験。	
甘楽町まが玉作り教室 8/2	甘楽町教育委員会からの依頼。まが玉作り体験。東国文化発信。	

(5) ボランティア

歴史博物館ボランティアは、次の活動に従事している。

- ・体験ボランティア…体験学習の学習者に対する支援、指導、準備

ア 概要

登録ボランティアは令和2年3月末現在、55名（一般ボランティア43名、東京農業大学第二高等学校のJRC・ボランティア部員12名）が登録している。土・日曜日、祝日の活動が中心で、歴史や社会貢献、社会的有用労働に興味を持っている人の参加が多い。

年代別に見ると、60代以上が大半を占めており着実に高齢化が進んでいる。60代以上の人は退職後に、社会のために何か役立ちたいという理由でボランティア活動を始めた人が多く、土・日曜日だけでなく平日の学校団体向け体験学習においても活動している人がいる。

ボランティアの居住地は、当館から1時間以内の市町村（高崎市・前橋市・藤岡市・伊勢崎市）が多いが、中には東毛地区から長時間かけて参加するボランティアもいる。

今年度も、夏休み中に学生ボランティア（県内高校生）を募集した。高校生64名が、各種ワークショップや各種イベントにおける指導補助に従事した。

イ 年間の活動人数

- ・体験ボランティア …延べ290名程度の一般ボランティアが活動。学校向けプログラムと一般向けプログラムの支援として、活動（4～翌3月）
- ・高校生ボランティア…64名。サマーワークショップの指導補助や、各種イベント補助として活動（7、8月）

ウ 研修会の実施

体験学習の指導を円滑に進めるために、体験学習の内容が変わるたびに研修を実施している。また、ボランティアの資質向上を図るために、一般向けと高校生向けに各一回の研修会を実施している。

7月13・14日 高校生ボランティア説明会（令和元年度の活動説明、展示室見学等）

3月14・15日 体験ボランティア研修・説明会（令和2年度の活動説明、展示室見学等）
を予定したものの、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う本館休館により中止した。

エ その他

- ・ボランティアには館から食費・交通費の支給はない。
- ・ボランティアへの連絡のため、毎月、「ボランティアだより」を発行し、裏面にはボランティア当番予定表を記載した。
- ・ボランティア登録4年以上経過し、年間60日以上、または通算100日以上活動したボランティアに対して感謝状を贈呈する。

(6) 広報活動

ア ちらし配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

イ 歴史博物館カレンダー配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

ウ 県広報課関係広報

ぐんまちゃんの掲示板、ぐんま広報、グラフぐんま、ぐんま情報トッピング等

エ 県内報道機関へのPR

上毛新聞本社、読売新聞前橋支局、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、上毛新聞ぱれっと編集室、上毛新聞タカタイ編集室、朝日ぐんま、群馬よみうり、群馬東部よみうり、日本放送協会前橋放送局（出演を含む）、群馬テレビ（出演を含む）、エフエム群馬（出演を含む）、ラジオ高崎（出演を含む）等

オ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、歴史関連雑誌等

カ 企画展図録配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内図書館等

キ 紀要配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

ク 年報をホームページに掲載

年報を当館ホームページに PDF ファイルで掲載

ケ 学校団体利用促進広報

県内小・中・養護・高等学校、県内各市町村教育委員会、県外（埼玉、東京、神奈川等）小学校への利用案内の配布

県総合教育センター初任者研修の受け入れ

校長会・教頭会・社会科主任会の見学受け入れ

コ ホームページの充実

企画展の紹介や資料一覧・資料画像等、掲載情報の充実

イベントや休館日を確認できる開館カレンダーの掲載

Facebook ページの更新

サ 群馬の森来園者に対する広報の充実

公園入口へのポスター掲示

(7) 刊行物の発行

	名 称	規格・頁数	部数
書籍	第99回企画展「生まれ！ぐんまのはにわたち」図録	A 4 1 4 4 頁	2,500
	第100回企画展「ハート形土偶 大集合!!」図録	A 4 1 3 6 頁	1,800
	春の特別展示「すばらしき群馬のはにわ」図録	A 4 3 2 頁	1,500
	紀要第41号	A 4 1 1 2 頁	900
	年報第40号	A 4 4 6 頁	50
パンフレット類	群馬県立歴史博物館カレンダー(2020-2021)	A 4 巻き三つ折り	30,000
	群馬県立歴史博物館施設案内パンフレット	396mm×210mm 観音折り	90,000
	第99回企画展「生まれ！ぐんまのはにわたち」リーフレット	A 4 二つ折り	10,000
	第100回企画展「ハート形土偶 大集合!!」リーフレット	A 4 二つ折り	12,000
	特別収蔵品展「日本画の美」リーフレット	A 4 二つ折り	5,000
	ist テーマ展示 vol.10「ポスターと図録でたどる企画展40年の軌跡」	A 3 二つ折り	5,000
	ist テーマ展示 vol.11「月岡芳年『新形三十六怪撰』」	A 3 二つ折り	3,000
	ist テーマ展示 vol.12「くらしのうつりかわり1」	A 3 二つ折り	3,000
	ist テーマ展示 vol.13「くらしのうつりかわり2」	A 3 二つ折り	3,000
	ist テーマ展示 vol.14「新田猫絵展」	A 3 二つ折り	3,000
	令和2年度学校向け利用案内パンフレット	A 3 二つ折り	7,000
	学校団体向け展示見学ワークブック「れきしたんけん」	B 5 8 頁	10,000
学校団体向け展示見学ワークブック「はにわ・古墳探検」	B 5 8 頁	10,000	
ちらし	第99回企画展「生まれ！ぐんまのはにわたち」ちらし	A 4	30,000
	第100回企画展「ハート形土偶 大集合!!」ちらし	A 4	30,000
	特別収蔵品展「日本画の美」ちらし	A 4	20,000
	春の特別展示「すばらしき群馬のはにわ」ちらし	A 4	23,000
	第12回テーマ展示「くらしのうつりかわり1」ちらし	A 4	23,000
	第13回テーマ展示「くらしのうつりかわり2」ちらし	A 4	23,000
	「夏のれきはく はにわコレクション!」ちらし	A 4	110,000
「冬のれきはく 日本画でみつけ!」ちらし	A 5	110,000	
ポスター	第99回企画展「生まれ！ぐんまのはにわたち」ポスター	B 2	1,800
	第100回企画展「ハート形土偶 大集合!!」ポスター	B 2	1,800
	特別収蔵品展「日本画の美」ポスター	B 2	1,800
	春の特別展示「すばらしき群馬のはにわ」ポスター	B 2	1,800

3 調査・研究

(1) 資料調査

ア 趣旨

群馬の歴史や文化を考える上で、有益な各種資料の調査を「平成31/令和元年度群馬県立歴史博物館資料調査員の設置並びに資料調査実施要領」に基づいて実施した。

(ア) 資料調査の目的

博物館内外の資料調査や調査研究あるいは、展示手法や教育プログラムの閲覧等を行い、博物館活動の充実をはかる。

(イ) 資料調査員

資料調査員は、研究者及び有識者の中から委嘱する。

資料調査員は、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門について適任者を選定する。

委嘱の期間は、令和元年6月16日から令和2年3月31日までとする。

イ 調査テーマ一覧

[敬称略・順不同]

No	分野	調査テーマ	調査員	担当職員
1	考古	綿貫観音山古墳成立前夜の地域動向に関する分布調査	関口修（1） 五十嵐信（2）	深澤敦仁
2	考古	群馬県域出土形象埴輪の基礎的研究	南雲芳昭（3）	飯田浩光
3	歴史	上野国高崎藩遠藤家文書の基礎調査	秋山寛行（4） 中山剛志（5）	青木裕美
4	歴史	新田家資料（近世・近現代）に係る基礎研究	竹内励（6）	青木裕美
5	歴史	高山社関係資料に関する調査	軽部達也（7）	佐藤有
6	民俗	都丸九一資料の基礎的調査	井坂優斗（8） 伊藤克枝（9） 瀧澤典枝（10） 永島政彦（11）	武藤直美
7	美術工芸	群馬県立歴史博物館所蔵の絵画資料に関する調査研究	太田佳鈴（12）	森田真一

（1）元群馬県教育委員会文化財保護課嘱託、（2）元群馬県教育委員会文化課補佐、（3）高崎市観音塚考古資料館長、（4）群馬県立豊学校（臨時教諭）、（5）渋川青翠高等学校教諭、（6）熊谷市立大麻生中学校事務、（7）藤岡市教育委員会文化財保護課、（8）館林市市史編纂センター、（9）富岡製糸場総合研究センター、（10）元群馬県立文書館嘱託、（11）群馬県立太田フレックス高等学校教諭、（12）群馬県立近代美術館

ウ 資料調査員会議

(ア) 第1回資料調査員会議

日時 令和元年6月18日（日） 10時～

会場 群馬県立歴史博物館会議室

議題 委嘱状交付、調査実施方法、調査計画の検討、その他

(イ) 第2回資料調査員会議

令和2年3月8日(日)の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止とし、報告書の提出で代替した。

(2) 調査研究

博物館活動及び館職員の資質向上に資するために、今年度の調査研究計画を決定し実施した。

平成31年度／令和元年度調査研究テーマ一覧

[敬称略・順不同]

No	氏名	分野	テーマ
1	深澤敦仁 関口修(1) 五十嵐信(2)	考古	綿貫観音山古墳築造立地の要因に関する研究
2	深澤敦仁 佐藤有	考古 歴史	明治期以降の群馬県内で残された古墳及び出土遺物の調査
3	飯田浩光 南雲芳昭(3)	考古	群馬県域出土形象埴輪の基礎的研究
4	森田真一	歴史	中世東国上杉氏の研究
5	青木裕美 佐藤有	歴史	近世・近現代における博物誌『砂寄草』の基礎研究
6	佐藤有	歴史	明治期における群馬県地方制度の研究
7	佐藤有	歴史	明治期における技術伝播(養蚕技術)の研究
8	下田裕康	教育普及	展示見学用ワークシートの活用に関する研究
9	原千紘	教育普及	教育展示「むかしの暮らし」および展示学習プログラムの改善

- (1) 元群馬県教育委員会文化財保護課嘱託、(2) 元群馬県教育委員会文化課補佐、
(3) 高崎市観音塚考古資料館長

(3) 各調査研究部門

ア 考古部門

- (1) 資料調査のとおり、各職員が資料調査を行った。
(2) 調査研究のとおり、各職員が調査研究を行った。

イ 歴史部門

- (1) 資料調査のとおり、各職員が資料調査を行った。
(2) 調査研究のとおり、各職員が調査研究を行った。

ウ 民俗部門

民俗部門は、今年度は武藤学芸員1名の構成により、調査研究活動が実施された。
第11回及び第14回テーマ展示に関連し、関連資料についての調査を実施した。

エ 美術工芸部門

該当なし

オ 教育普及部門

調査研究として、下田補佐が「展示見学用ワークシートの活用に関する研究」、原主任が「教育展示『むかしのくらし』および展示学習プログラムの改善」を実施した。

(4) 紀要

『群馬県立歴史博物館紀要第41号』（A4判112頁）を刊行した。内容は、以下のとおりである。

『群馬県立歴史博物館紀要第41号』執筆稿一覧

[敬称略・順不同]

No.	執筆者	表題	種別		
1	佐藤有・軽部達也	明治期の養蚕風景 —高山社の蚕書と乾板写真をとおして—	和文 横書	34	資料研究 ノート
2	石田典子・石田真 ・小林正・文挾健 太郎・鈴木佑太郎	ハート形土偶の集成	和文 横書	18	資料研究 ノート
3	鈴木英恵	ひな人形と鯉のぼりに宿る靈魂観 —形代にみる信仰と習俗を中心に—	和文 横書	20	資料研究 ノート
4	細谷昌弘・森田 真一	史料紹介「新田岩松之系図附録 全」(下)	和文 縦書	30	史料紹介
5	中山剛志・秋山寛 行・青木裕美	史料紹介 高崎藩士遠藤家文書	和文 縦書	10	史料紹介

計112頁

(5) 企画展プロジェクト

ア 第101回企画展

(ア) プロジェクト委員 [敬称略・順不同]

諫早 直人 (京都府立大学文学部准教授)

内山 敏行 ((公財)とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター整理課副主幹)

岡林 孝作 (奈良県立橿原考古学研究所 調査部長)

高田 貫太 (国立歴史民俗博物館研究部 考古研究系 准教授)

右島 和夫・山口 明・町田 弥生・深澤 敦仁・下田 裕康・徳江 秀夫・飯田 浩光 (当館)

(イ) 委員会の開催

今年度は全体検討会を1回開催し、展示品の選定や展示構成、関連行事について指導・助言を受けた。

日 時：令和元年6月19日(火) 午前10時～

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示品の選定や展示構成、関連行事について

イ 第102回企画展

(ア) プロジェクト委員〔敬称略・順不同〕

佐藤 孝之(東京大学名誉教授)

小島 純一(前橋市教育委員会文化財保護課専門員)

秋本 太郎(高崎市教育委員会文化財保護課学芸員)

高山 正(沼田市教育委員会歴史資料館長)

岡屋 紀子(館林市教育委員会市史編さんセンター所長)

関口 荘右(群馬県立文書館古文書係長(補佐)) ※オブザーバー参加

右島 和夫・山口 明・深澤 敦仁・下田 裕康・石田 典子・青木 裕美(当館)

(イ) 委員会の開催

本年度は第1回と第2回の委員会を実施した。第1回の委員会ではおもに展示構成や展示資料についての議論を行い、第2回では関連行事や図録の執筆についての議論を深めた。

日 時：令和元年5月18日(土) 午後1時～

令和 2年2月 1日(土) 午後2時～

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

(6) 社会貢献と個別研究

ア 博物館実習の受入

博物館実習を以下のように行った。

期 間：令和元年8月20日(火)～8月30日(金)

〔8月24日(土)、25日(日)、26日(月)を除く8日間〕

内 容：博物館の業務と目的を理解するために必要な事項

学芸員の仕事への理解を深める事項

その他、博物館に関する事項

学生数：16名

イ 講演会等への出講

No.	職員名	日時	内容		場所		参加者数
			事業名	タイトル	会場	所在地	
1	右島和夫	令和元年6月14日(金)	伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会記念講演会	お富士山古墳について考える	伊勢崎市北公民館	群馬県伊勢崎市	50
2	右島和夫	令和元年6月23日(日)	企画展「龍角寺古墳群とその時代」第1回考古学講座	前方後円墳の終焉と律令国家への胎動	千葉県立房総のむら	千葉県印旛郡栄町	60
3	右島和夫	令和元年6月24日(月)	土木学会関東支部群馬会特別講演会	古墳の構築過程を考え	群馬建設会館	群馬県前橋市	100
4	右島和夫	令和元年7月24日(水)	群馬県総合教育センター小・中学校初任者研修	古代ぐんまの繁栄	群馬県総合教育センター	群馬県伊勢崎市	40
5	右島和夫	令和元年8月7日(水)	群馬県総合教育センター小・中学校初任者研修	古代ぐんまの繁栄	群馬県総合教育センター	群馬県伊勢崎市	40
6	右島和夫	令和元年8月31日(土)	夏季企画展「埴輪の匠、藤岡にあわらる一埴輪づくりの窯をさぐる」	埴輪王国ぐんまを担った藤岡地域	藤岡歴史館	群馬県藤岡市	50
7	右島和夫	令和元年11月24日(日)	特別展示「群馬県の古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展パート4」トークショー	太田新田における群馬大学の古墳調査	群馬大学中央図書館	群馬県前橋市	40
8	右島和夫	令和2年1月26日(日)	歴史と文化を学ぶ会 第5回講演会	古墳構築を考える	ヤマダ電機LABI1	群馬県高崎市	300
9	深澤敦仁	令和元年5月12日(日)	歴史と文化を学ぶ会 第1回講演会	邪馬台国時代と東国社	ヤマダ電機LABI1	群馬県高崎市	280
10	深澤敦仁	令和元年6月28日(金)	東国文化ハカセ出張授業	東国文化の中心 群馬の古墳	伊勢崎市蓮蓮中学校	群馬県伊勢崎市	176
11	深澤敦仁	令和元年6月30日(日)	石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座	古墳時代研究から探る(群馬のルーツ)	前橋 ノイエス朝日	群馬県前橋市	60
12	深澤敦仁	令和元年8月7日(水)	埋蔵文化財専門職員講座	「東国文化副読本」を讀んで本物を見よう!	群馬県埋蔵文化財調査センター	群馬県渋川市	8
13	深澤敦仁	令和元年10月27日(日)	日本考古学協会 岡山大会 分科会Ⅱ 古墳時代中期の巨大古墳	関東:太田天神山古墳	岡山大学	岡山県岡山市	100
14	深澤敦仁	令和元年11月24日(日)	特別展示「群馬県の古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展パート4」ギャラリートーク	太田新田における群馬大学の古墳調査	群馬大学中央図書館	群馬県前橋市	40
15	深澤敦仁	令和元年12月14日(土)	特別展示「群馬県の古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展パート4」ギャラリートーク	太田新田における群馬大学の古墳調査	群馬大学中央図書館	群馬県前橋市	30
16	深澤敦仁	令和2年1月21日(火)	総社歴史勉強会(第1回)	遺跡から考える古墳時代の群馬	前橋市総社公民館	群馬県前橋市	40
17	森田真一	令和元年5月28日(火)	講話「歴史の見方」	同左	群馬県立高崎高等学校	群馬県高崎市	193
18	森田真一	令和元年10月22日(火・祝)	太田市立新田図書館 歴史講演会	大新田氏展を終えて	太田市立新田図書館	群馬県太田市	150
19	武藤直美	平成31年4月16日(火)	高崎東倫理法人会経営者モーニングセミナー	上毛かるた～あゆみとねがい～	ホテルニューサンピア	群馬県高崎市	50
20	武藤直美	令和元年5月30日(木)	中央区民カレッジ まるごと!ぐんま学 ～群馬の歴史と文化を知る～	ぐんまの粉食文化へぐんまの伝統食へ	群馬銀行東京支店	東京都中央区	50
21	武藤直美	令和元年6月5日(水)	高崎市倫理法人会経営者モーニングセミナー(第959回)	上毛かるた～あゆみとねがい～	ホテルグランビュール高崎	群馬県高崎市	40
22	飯田浩光	令和元年9月8日(日)	玉村町歴史資料館第24回企画展「玉村のはにわ」記念講演会	群馬のはにわ、玉村のはにわ	玉村町文化センター	群馬県佐波郡玉村町	67
23	飯田浩光	令和元年9月14日(土)	榛名地域の歴史を知る講演会	榛名地区の古墳	高崎市榛名歴史民俗資料館	群馬県高崎市	50
24	飯田浩光	令和元年10月19日(土)	「東国武士のルーツ 高塚古墳掛甲武人埴輪展示」関連講演会	榛東村高塚古墳と6世紀の人物埴輪	榛東村耳飾り館	群馬県北群馬郡榛東村	36
25	飯田浩光	令和2年2月21日(金)	総社歴史勉強会(第2回)	人と動物の埴輪からみた群馬の古墳時代	前橋市総社公民館	群馬県前橋市	25
26	佐藤有	令和元年6月8日(土)	群馬県地域文化研究協議会地域研究会	群馬郡北部における共同体意識一明治前期の地域編成をめぐる一	吉岡町文化センター	群馬県群馬郡吉岡町	150
27	佐藤有	令和元年6月19日(水)	岩鼻歴史研究会歴史講演会	岩鼻地域の明治維新	岩鼻公民館	群馬県高崎市	40
28	佐藤有	令和元年9月17日(火)	講話「戦争と群馬」	同左	群馬県立高崎高等学校	群馬県高崎市	193

4 資料の収集・整理

(1) 資料整理

ア 考古部門

台帳と収蔵資料管理システムに入力済みの資料の整合確認作業を実施した。

イ 歴史部門

目録と資料との突合作業を段階的(本年度一部実施)に行い、目録不備資料の目録作成に着手した。併せて収蔵資料の配架整理を行った。

ウ 民俗部門

台帳と収蔵資料管理システムに入力済みの資料の整合確認作業を実施した。

エ 美術工芸部門

新収蔵庫に移転した収蔵資料の配架整理及び台帳との整合確認を実施した。

(2) 保存管理

資料整理及び管理は各研究室・収蔵庫・展示室ごとに行われるが、共通事項として保存環境の整備・資料の修復があり、以下の事業を行った。

ア 保存環境の整備

- ・収蔵庫・展示室の温湿度調整・記録（機械自動管理とデータロガーによる）
- ・虫菌害防止対策として、収蔵庫・展示環境の測定（飛来虫などを館職員で捕獲し記録）や清掃、整理整頓等の日常管理
- ・害虫防除施工の実施
- ・資料燻蒸（企画展に伴い、燻蒸庫にて資料燻蒸を2回実施した）

イ 資料の修復及び保存修理

刀剣資料80振りと鉄砲資料80挺の手入れを各1回実施した。

ウ 公開承認施設の承認について

グランドオープンから5年後となる2022年の公開承認施設の承認申請に向けて、日常管理体制及び危機管理マニュアルを見直しを実施した。

(3) 収集資料

本年度の収集資料は、寄贈資料2点、購入資料0点、移管資料0点、採集資料0点で、合計2点。総計101,217点となる。

ア 平成31年度／令和元年度所蔵資料集計

部 門	自 然	考 古	歴 史	美術工芸	民 俗	教育普及	合 計
	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点
寄贈資料	0-0	0-0	0-0	1-1	1-1	0-0	2-2
購入資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
移管資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
採集資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
H31/R元年度	0-0	0-0	0-0	1-1	1-1	0-0	2-2
総 計	129	32,891	45,378	2,645	19,044	1,130	101,217

今年度寄贈数	0	0	0	1	1	0	2
今年度購入数	0	0	0	0	0	0	0

イ 寄贈資料 2件2点

No.	部門	資料名称	点数	寄贈者	住所	
1	1	民俗	都丸十九一資料	1	個人	渋川市
8	1	美工	脇指 銘 上芝住義文作	1	個人	高崎市

ウ 購入資料 0件

エ 移管資料 0件

オ 採集資料 0件

カ 寄託資料 1件1点 ※本年度は寄託更新年度ではなかったため、新規寄託のみを記載する。

No.	部門	資料名称	点数	寄託者	住所	備考
1	1	考古	不二山古墳一括遺物	1	群馬大学教育学部長	前橋市 新規

5 利用状況

(1) 利用者数

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（令和2年2月29日～）

ア 月別利用者数

月 (開館日数)	4月 (22)	5月 (27)	6月 (20)	7月 (22)	8月 (28)	9月 (15)	10月 (26)	11月 (26)	12月 (13)	1月 (24)	2月 (21)	3月 (-)	計 (244)
観覧者	一般	1,974	4,626	2,730	3,938	7,207	2,269	7,689	5,644	1,125	3,359	3,179	43,740
	高・大学生	185	164	81	142	312	51	107	125	72	105	91	1,435
	小・中学生	460	2,095	2,032	2,110	2,151	1,117	4,017	1,666	296	1,031	910	17,885
	幼年者	81	141	104	297	489	179	1,379	228	73	172	187	3,330
	身障者	102	230	98	166	320	128	165	272	72	149	163	1,865
	小計	2,802	7,256	5,045	6,653	10,479	3,744	13,357	7,935	1,638	4,816	4,530	68,255
行事参加者	2,192	3,358	1,561	5,359	11,815	2,529	3,019	3,838	1,329	3,426	3,471	41,897	
計	4,994	10,614	6,606	12,012	22,294	6,273	16,376	11,773	2,967	8,242	8,001	110,152	
累計	4,994	15,608	22,214	34,226	56,520	62,793	79,169	90,942	93,909	102,151	110,152	110,152	

イ 学校団体等行事参加者数（幼・小・中学生観覧者数に含まれ、複数のプログラムに参加の学校もあり）

月 (開館日数)	4月 (22)	5月 (27)	6月 (20)	7月 (22)	8月 (28)	9月 (15)	10月 (26)	11月 (26)	12月 (13)	1月 (24)	2月 (21)	3月 (-)	計 (244)
体験学習	浮世絵多色刷り	0	259	461	228	0	134	314	214	0	52	38	1,700
	石うす体験	0	0	0	0	0	0	921	530	49	318	199	2,017
	くらしと明かり	0	0	0	0	0	0	130	70	0	104	72	376
	火おこし体験	115	1,178	1,202	334	0	252	168	73	0	0	29	3,351
	その他	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39
展示学習	れきしたんけん	0	49	0	0	0	0	902	302	0	0	50	1,303
	はにわ・古墳探検	115	1,153	1,337	556	0	277	323	182	0	94	38	4,075
	昔の道具調べ	0	0	0	0	0	0	903	711	49	318	271	2,252
計	230	2,678	3,000	1,118	0	663	3,661	2,082	98	886	697	15,113	
累計	230	2,908	5,908	7,026	7,026	7,689	11,350	13,432	13,530	14,416	15,113	15,113	

ウ 行事参加者数（個人・団体）

月 (開館日数)	4月 (22)	5月 (27)	6月 (20)	7月 (22)	8月 (28)	9月 (15)	10月 (26)	11月 (26)	12月 (13)	1月 (24)	2月 (21)	3月 (-)	計 (244)
行事参加者	2,192	3,358	1,561	5,359	11,815	2,529	3,019	3,838	1,329	3,426	3,471	41,897	
学校団体行事参加者	230	2,678	3,000	1,118	0	663	3,661	2,082	98	886	697	15,113	
計	2,422	6,036	4,561	6,477	11,815	3,192	6,680	5,920	1,427	4,312	4,168	57,010	
累計	2,422	8,458	13,019	19,496	31,311	34,503	41,183	47,103	48,530	52,842	57,010	57,010	

エ 団体利用者数

月 (開館日数)	4月 (22)	5月 (27)	6月 (20)	7月 (22)	8月 (28)	9月 (15)	10月 (26)	11月 (26)	12月 (13)	1月 (24)	2月 (21)	3月 (-)	計 (244)
一般	団体数	2		5	3	2	2	6	6				26
	人数	56		153	102	20	60	176	157				724
高・ 大生	団体数	1	1		3	1		1	2	2	1	1	13
	人数	104	6		25	27		25	30	38	40	9	304
中学 生	団体数	1			1			1	1				4
	人数	11			11			1	27				50
小学 生	団体数	2	27	26	18	1	7	30	18	2	9	6	146
	人数	115	1,626	1,875	1,042	98	578	1,823	1,010	49	370	300	8,886
幼 年	団体数			1				1					2
	人数			45				23					68
身 障	団体数												0
	人数												0
社教 等	団体数	3	2	2	11	11	3	5	6	2	2	6	53
	人数	36	24	36	180	169	40	226	124	30	22	74	961
計	団体数	9	30	34	36	15	12	44	33	6	12	13	244
	人数	322	1,656	2,109	1,360	314	678	2,274	1,348	117	432	383	10,993
招待者	78	267	201	217	478	127	3,606	377	70	103	92		5,616

オ 館外開催学校団体等行事参加者数

月 (団体数)	4月 (-)	5月 (-)	6月 (-)	7月 (-)	8月 (-)	9月 (-)	10月 (-)	11月 (-)	12月 (1)	1月 (3)	2月 (7)	3月 (-)	計 (11)
出張！ 浮世絵体験									108	115	428		651

カ 観覧者数

タイトル	開催期間 (日数)	有料観覧者	無料観覧者	合計
開館40周年記念 第98回企画展 大新田氏展	4/27～6/16 (45)	6,086	5,532	11,618
開館40周年記念 第99回企画展 集まれ！ぐんまのはにわたち ～日本一の埴輪県～	7/13～9/1 (45)	9,483	6,671	16,154
開館40周年記念 第100回企画展 ハート形土偶 大集合!! －縄文のかたち・美、そして岡本太郎－	9/28～12/1 (55)	8,519	13,340	21,859
常設展	(244)	10,967	7,657	18,624

(2) 資料の特別観覧

下記の資料46件について特別観覧の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古	歴史	美工	民俗	その他	計
1	観音山古墳副葬品一括、西大山遺蹟1号墳鏝嚢、上丹生屋敷山遺蹟鉄鏝、羽口	70					70
2	保濃田八幡塚古墳出土埴輪（イノシシ小像、鳥をのせる人物<腕>）	2					2
3	ブルーノ・タウト関連資料（デッサン、竹製籠ほか）12点			12			12
4	懐中記			1			1
5	綿貫観音山古墳出土複製（水瓶、異形甕）2点	2					2
6	島霞谷と島隆関係資料（大橋堂無懐記録<冊子>、写真証明書<冊子>ほか）10点			10			10
7	上毛かるた 原画 44点				44		44
8	伊勢崎市上原古墳出土の蕨手刀	1					1
9	松平大和守直矩筆縮本著色菊図 1幅（孝願寺寄託資料）、松平大和守直矩書写 紺紙金泥妙法蓮華經提婆達多品 1巻（同）		2				2
10	橋東村高塚古墳出土土人埴輪	1					1
11	ブルーノ・タウト関連資料（デッサン）58点			58			58
12	島霞谷と島隆関係資料（霞谷スケッチ、山茶紅華、島霞谷「人名録」ほか）8点			8			8
13	土岐家文書（25点）			25			25
14	永祿日記（3冊）・長樂寺文書（第二巻）			4			4
15	養蚕改良高山社設立願		1				1
16	観音山古墳出土 頭椎大刀（複製品）、伝勢多郡南橋村 単鳳環頭大刀など4点	4					4
17	綿貫観音山古墳出土 鏡（2点）、頭椎大刀（1点）	3					3
18	入山峠祭祀遺跡出土品（石造模造品破片、土師器破片、須恵器破片、銅銭、させる雁首ほか87点）	87					87
19	昭和村御門1号墳出土遺物（16点）、昭和村鍛冶屋地2号墳出土遺物（42点）	58					58
20	伝酒井忠清座像		1				1
21	唯信鈔、唯信鈔文意			2			2
22	千吉良寛・令子氏寄贈資料 沼田中学校（旧制）虎追写真		2				2
23	米軍投下ビラ		1				1
24	ブルーノ・タウト関連資料（デッサン）6点			6			6
25	本郷大塚古墳（内行花文鏡・ガラスなど27点）、川井稲荷山古墳（三角縁君宜高宮獣文帯四神四獣鏡）、前橋天神山古墳（土師器二重口縁壺）、朝子塚古墳（壺形埴輪）計30点	30					30
26	剣崎天神山古墳出土品 石杵 計1点	1					1
27	土岐家文書（定政伝記・源定政軍器軍功由来記書・土岐家家譜・土岐頼尚諱状）、天正18年下河田村検地帳の複製 計5点		5				5
28	一字一石経（G480-1）川場村生品 延命院出土 4点	4					4
29	ブルーノ・タウト関連資料（デッサン、モザイク、黒漆塗吸収取紙台、竹のテーブルスタンドなど）10点			10			10
30	島霞谷と島隆関係資料（貼交屏風、島中写学生あて松平大学別当よりの達書<明治3年2月12日>、島霞谷・隆撮影 ガラス湿版写真のうち若い武士の像<田崎角太郎>、島霞谷の粉本類）4点			4			4
31	定政伝記			1			1
32	群馬県綿貫観音山古墳出土品（鉄製品・鏝）33点	33					33
33	生品西浦遺跡出土品（鉄製品・鏝）20点	20					20
34	上毛かるた旧版、上毛かるた県大会優勝旗				2		2
35	富岡市妙義町高田出土 嚢、甘楽郡甘楽町金井出土 馬具嚢、前橋市荒牧町南橋村地区出土 鉄製嚢部分 計3点	3					3
36	田島三喜雄関係資料10点		10				10
37	復元資料 綿貫観音山古墳出土の銅製水瓶・獣帯鏡・異形甕 3点	3					3
38	綿貫観音山古墳出土 頭椎大刀、龍環頭大刀、三累環頭大刀、獣帯鏡	4					4
39	高山社・蚕業学校関係資料 14点		14				14
40	大島氏関係文書（長尾景長感状 49・50、長尾頭長名字状 51）、由良文書（足利政氏書状 13、足利義氏書状 14）、富岡家文書（上杉輝虎書状 27・31）計7点		7				7
41	上ノ久保遺跡出土土器、上人見遺跡出土土器 計5点	5					5
42	富岡家文書 1巻、由良文書（元亀3年）10月25日北条氏政書状（中世文書資料集15）、大島氏関係文書 永祿7年3月18日長尾景長感状（中世文書資料集49）、大島氏関係文書 永祿8年10月21日長尾景長感状（中世文書資料集50）、菅谷氏関係文書（元亀3年）閏正月4日上杉謙信書状（中世文書資料集56）	5					5
43	鶴山古墳出土遺跡（横剗板鉄留式短甲〈2〉、小札鉄留衝角付青〈1〉、大刀〈6〉ほか）、剣崎天神山古墳（石製模造品〈79〉）、舞台1号墳（白玉〈200〉）、土師器〈13〉ほか）計498点	498					498
44	下川文書（加藤清正書状〈文禄4年9月3日〉、加藤忠広書状〈慶長17年7月9日〉ほか）計5点		5				5
45	4号住居跡出土耳飾	3					3
46	山王廃寺 軒丸瓦、上植木廃寺 軒丸瓦・軒平瓦、寺井廃寺 軒丸瓦・軒平瓦ほか、計50点	50					50

(3) 資料の貸出許可

下記の資料93件について、掲載許可の申請があり承認した。

貸出No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
1	上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち、椅子に腰掛ける女子（第三号墳出土）1点・群馬県綿貫観音山古墳出土品 一括のうち 埴輪 振分髪男子1点 画像データ2点		2										2
2	群馬県舞台一号墳出土品 高坏（文化庁蔵 群馬県立歴史博物館）画像データ1枚		1										1
3	三光院十一面観音像複製 1点					1							1
4	「高山社事務所写真帖」（高山社・養蚕学校関係資料T3-101）より9点				9								9
5	重要文化財 上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち、埴輪 椅子に腰掛ける女子（3号墳出土）	1											1
6	酒井氏時代の前橋城図 画像データ1点			1									1
7	鉄黒漆塗62間筋兜（上州住成国作）、鉄錆地62間筋兜（上州住成重作）鉄錆地62間小星兜（上州住成重作）、鉄錆地62間小星兜（上州住成国作）、鉄黒漆塗62間小星兜（上州住成国作）、金箔押62間小星兜（上州住成国作）、鉄黒漆塗62間小星兜（上州住成国作）、鉄黒漆塗62間小星兜（上州住成重作）画像データ 計8点						8						8
8	新田義貞坐像（金龍寺）画像データ1点					1							1
9	相撲人之図 画像データ 1点					1							1
10	天神原遺蹟の土偶 画像データ1点		1										1
11	五十子陣からの出土品（白磁 国産陶器）、足利成氏感状（康生二年三月三日）画像データ2点					2							2
12	綿貫観音山古墳出土 異形兜 画像データ 1点		1										1
13	重要文化財 上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち、埴輪 椅子に腰掛ける女子（3号墳出土）		1										1
14	武蔵老農夜話 19番目「食事の様子」（その1）画像データ1点			1									1
15	群馬県綿貫観音山古墳出土品 王と巫女の配列 画像データ1点		1										1
16	保渡田八幡塚古墳出土埴輪 力士脚部、鶏頭部 画像データ2点		2										2
17	三人童女の埴輪、綿貫観音山古墳の空撮写真、綿貫観音山古墳出土の水瓶 画像データ3点		3										3
18	ブルーノ・タウト「竹製カサの取手」画像データ1点						1						1
19	「酒飯絵巻」画像データ 1点						1						1
20	浮世絵（デジタルデータ）、蚊帳、畳（4畳半分）、昭和なジオラマ、果物食品サンプル（リンゴ、ブドウ、モモ、キウイ、ミカン、島バナナ）計10点							9	1				9 1
21	綿貫観音山古墳出土品（銅水瓶・獣帯鏡・三人童女）画像データ3点		3										3
22	文化庁蔵 上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち、馬（第四号墳出土）画像データ1点		1										1
23	甲を着た古墳人復顔像 画像データ1点		1										1
24	埴輪 飾り馬（4号墳出土）画像データ1点		1										1
25	黒井峯・西組遺跡復元模型 画像データ1点		1										1
26	兼定の刀（立架漆籠釣瓶）画像データ1点						1						1
27	松平直矩像、松平基知像、松平義知像、松平直矩筆 菊圖、松平直矩筆 妙法蓮華経提婆達多品の貸出し				5								5
28	埴輪 腰に掛ける女子（塚廻り3号墳出土）画像データ1点		1										1
29	世良田地区の古地図 画像データ1点				1								1
30	浅間山大焼之図				1								1
31	土岐家文書（応永6年11月24日付土岐美濃入道宛足利義満御伴御教書、永生5年5月7日付土岐明智殿宛一色材延書状、永生18年2月2日付明智兵部大輔宛石河知直書状など5点）						5						5
32	綿貫観音山古墳出土 異形冑（複製）・同画像データ1点、綿貫観音山古墳出土 水瓶（複製）・同画像データ1点	2	2										2 2
33	綿貫観音山古墳出土（鉄冑・鉄鎌・頭椎大刀（全体）・頭椎大刀（柄部）・振り環頭大刀（全体）・振り環頭大刀（輪口金具）計6点		6										6
34	藤岡市三本木大原 埴輪小像（タカ）2点・同画像データ 2点、保渡田八幡塚古墳 埴輪小像（イノシシ）1点、同 人物埴輪腕部（トリ足表現）1点	4	2										4 2
35	ブルーノ・タウト デッサン「電灯カサ」、同画像データ1点					1	1						1 1
36	ブルーノ・タウト（ブローチ・エッグスタンド・コンパクト・手紙差し・蚊帳立て・メロンカゴ〈仮称〉）計6点					6							6
37	掛甲武人埴輪 1点		1										1
38	上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち、飾り馬（第四号墳出土）画像データ1点		1										1
39	木彫 伝酒井忠清 座像		1										1
40	本郷大塚古墳（内行花文鏡<1点>、ガラス製管玉<2点>、ガラス小玉<2点>）、川井稲荷山古墳[芝根7号古墳]（三角縁君宜高官獣文帯四神四獣鏡<1点>）、前橋天神山古墳（土師器二重口縁壺<1点>、同画像データ）、朝子塚古墳（壺型埴輪<1点>）、貝沢柳町遺跡1号周溝墓（二重口縁バレススタイル壺<1点>、同画像データ）	31	2										31 2
41	頭絡をつけた馬埴輪 伝群馬県出土		1										1
42	御門1号墳（金銅製毛彫馬具 杏葉<4点>、鉄製馬具<轡2点・壺鏡2点・鞍手刀1点・鉄鎌<広根3点・尖根4点>）、鍛冶屋地2号墳（装身具等 五鈴鏡<1点>・勾玉<7点>・切子玉<3点>・管玉<1点>・小玉<18点>・耳環<6点>・武器 <鉄鎌 広根3点>・大刀<2点>）計41点		41										41
43	群馬県綿貫観音山古墳出土品のうち獣帯鏡・銅水瓶・金銅杏葉・埴輪三人童女から、画像データ1〜2点		2										2
44	養蚕新報社編「養蚕要録」発行所 養蚕新報社、多野蚕種同業組合計印鑑（一括）木箱、蚕種配布帖（M36）、感謝状 蚕種研究 蚕紙業尽力につき原富岡⇄武十郎、蚕種製造届（M45）、「蚕種預かり残部調査につき報告」（荒船風穴⇄高山社蚕種部）、蚕種製造者一覧 多野藤岡蚕種同業組合、養蚕容器、模型・蚕児品種（1）、模型・蚕児品種（2）、模型・繭品種（1）、模型・繭品種（2）、蚕種容器、種紙（卵付）、蛾輪			16									16
45	楳取素彦肖像画 画像データ1点		1										1
46	群馬県綿貫観音山古墳 金銅製心葉形杏葉 1点、高林西原古墳群の人が乗る裸馬埴輪 1点、画像データ2点		2										2
47	頭椎大刀（複製品）綿貫観音山古墳出土 1点・同画像データ1点、円頭大刀 川内天皇塚古墳1点・同画像データ1点（群馬大学所蔵寄託品）、単鳳環頭大刀 伝前橋村出土1点・同画像データ1点	3	3										3 3

貸出No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
48	富岡家文書 上杉輝虎書状(永禄6年12月24日) 画像データ1点		1										1
49	群馬県綿貫観音山古墳出土 金銅製心葉形杏葉、銅製水瓶、史跡整備後の綿貫観音山古墳(上空から)、横穴式石室(玄室から奥壁)、PL101形象人物埴輪1450(正面・右側頭部)、PL112形象人物埴輪1463(正面・頭部正面)、画像データ計8点		8										8
50	太刀 銘「了戒(国指定重要文化財/世良田東照宮所蔵)		1										1
51	楳取素彦肖像画 画像データ1点				1								1
52	下河田検地帳複製 1点			1									1
53	土岐家文書(正徳4年<1714>定政伝記 卷子、貞応元年<1652>源定政軍器軍功由来記書 卷子、文政9年(1826)以降 土岐家家譜 卷子、文亀2年(1502)土岐頼尚讓状 卷子)計4点					4							4
54	八束脛洞窟出土 骨歯 画像データ1点		1										1
55	松平直矩公肖像画 画像データ1点						1						1
56	島霞谷像、筆を持つ島隆像、カボチャを担いで笑う島霞谷像、外国語かるたなど 画像データ4点						46						46
57	群馬県綿貫観音山古墳出土の銅水瓶 画像データ1点		1										1
58	井上・タウト印 画像データ1点						1						1
59	蚕種(卵)模型(NoS-1-12)、感謝状「蚕種研究 蚕糸業尽力につき」(No.S-2-39)、写真「高山社母屋兼蚕室前での集合写真」、写真「高山社蚕業学校の実習風景」1点			2	13								2 13
60	正文文書(応安二年足立郡大窪郷地頭方三分の一方田畠注文) 画像データ2点						2						2
61	重要文化財 上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち 埴輪 椅子に腰掛ける女子(3号墳出土)		1										1
62	刀 表銘「秋元家臣川部儀八郎藤原正秀 裏銘「天明五年八月日折下氏怨使鍛之男氏純帯之」、刀 表銘「在司筑前大塚大慶直胤 裏銘「文政九年五月日於江戸岡谷繁製刀ヲ見て求之」 画像データ2点						2						2
63	複元品 群馬県綿貫観音山古墳出土 銅製水瓶1点、獣帯鏡1点、異形冑1点		3										3
64	重要文化財 群馬県綿貫観音山古墳出土埴輪 皮袋をささげ持つ女子、重要文化財 塚廻り古墳群出土埴輪 椅子に腰かける女子(第3号墳出土) 画像データ2点		2										2
65	重要文化財 塚廻り古墳群出土埴輪 埴輪 飾り馬(第四号墳出土)		1										1
66	版画木曾街道六拾九次之内高崎 画像データ1枚						1						1
67	土岐家文書4巻24点、土岐家家譜1点 画像データ計25点						25						25
68	灌漑遺跡採集の土器片(岩澤正作資料)8点、樽遺跡採集の土器片(岩澤正作資料)9点、普門寺遺跡出土資料(藺田芳雄資料)12点、千網谷戸遺跡出土土器片(藺田芳雄資料)5点、千網谷戸遺跡出土土器(藺田芳雄資料)3点、千網谷戸遺跡出土土偶(藺田芳雄資料)1点、赤堀茶白山古墳出土家形埴輪(複製)1点		39										39
69	定正伝記(群馬県立歴史博物館寄託) 実物資料1点・同画像データ1点、足利尊氏袖判下文(観応2年) 画像データ 1点						1	2					1 2
70	銅製水瓶の写真1点、獣帯鏡の写真1点、金銅製馬具の写真1点、金銅製給付太帯の写真1点、人物埴輪群の写真「上野塚廻り古墳群出土埴輪」1点、人物埴輪群の写真1点、群馬県立歴史博物館の外観写真1点、東国古墳文化展示室の写真1点		8										8
71	イラスト「旧石器時代のくらし」市川興一画 1点		1										1
72	千網谷戸遺跡出土土器(藺田芳雄資料)3点		3										3
73	寄託 小林家文書 11点(小林重政着到状写 暦応4年6月、上杉憲実書状9月21日、上杉憲房書状4月27日・同10月7日、上杉憲政書状6月15日・同8月17日・同10月26日・同12月13日、上杉憲政感状11月7日・同12月5日)、寄託 長楽寺文書 3点(上杉憲頼奉書 暦応3年6月22日、上杉憲頼寄進状 観応2年9月21日[同年月日2点])						14						14
74	加藤清正書状 1点(慶長5年10月26日)				1								1
75	版画上州富岡製糸場図 1点、高山社蚕業学校関係資料 S-5-17 1点				2								2
76	島霞谷 写生図巻(夏図)						1						1
77	文政小判ほか 1点				1								1
78	木簡レブリカ写真(藤原宮出土「上毛野国車評桃井里大饗帖」) 1点		1										1
79	土岐家文書が撮影された画像データ 1点					1							1
80	人物埴輪群の写真(1点)、円筒埴輪と朝顔形埴輪の写真(1点)、金銅製給付太帯の写真(1点)、鶏形埴輪(頭部)の写真(2点)、家形埴輪の写真(1点)、盾形埴輪の写真(1点)、人物埴輪(馬曳き男子)の写真(1点)、馬形埴輪の写真(1点)、人物埴輪(振分け髪の男子)の写真(1点)、人物埴輪(掛甲をまとう男子)の写真(1点)、人物埴輪(農装男子)の写真(1点)		12										12
81	「富岡家文書」(永禄9年)11月20日 上杉輝虎書状、(天正5年)閏7月8日 北条氏政書状、(天正6年)9月9日 北条氏政書状、(天正10年)6月12日 滝川一益書状、「阿久沢文書」(天正18年)正月6日 北条氏直書状 計5点の画像データ				5								5
82	土岐家文書の写真画像4点 ①定政伝記 正徳4年(1714)、②源定政軍器軍功由来記書 貞応元年(1652)、③土岐家家譜 文政9年(1826)以降、④土岐頼尚讓状 文亀2年(1502)						4						4
83	上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち椅子に腰掛ける女子(第三号墳出土)1点、群馬県綿貫観音山古墳出土品 一括のうち埴輪 振分け髪の男子1点 画像データ2点		2										2
84	大刀を持つ巫女1点、三人童女1点		2										2
85	上ノ久保遺跡出土土器 3点		3										3
86	版画上州富岡製糸場図				1								1
87	銀牌授与趣意書、金牌授与証、金盃、高山社写真帖ほか、計5点				52								52
88	絹本着色 桐生書上家織物取引図				1								1
89	富岡家文書 永禄7年7月23日 上杉謙信書状(『増補群馬県立歴史博物館中世文書資料集』24号) 実物資料1通・同画像データ1点、由良文書 元亀3年10月25日 北条氏政書状(『増補群馬県立歴史博物館中世文書資料集』15号) 実物資料1幅、同画像データ1点ほか、実物資料計5点、画像データ計5点			5	5								5 5
90	上野塚廻り古墳群出土埴輪 人物埴輪の画像データ2点		2										2
91	掛甲古墳土人埴輪(榛東村高塚古墳) 画像データ1点、弓形埴輪(榛東村高塚古墳) 画像データ1点		2										2
92	高山社蚕業学校の授業風景 画像データ2点				2								2
93	太田市島山鶴山古墳出土 冑(群馬大学教育学部蔵) 画像データ1点		1										1

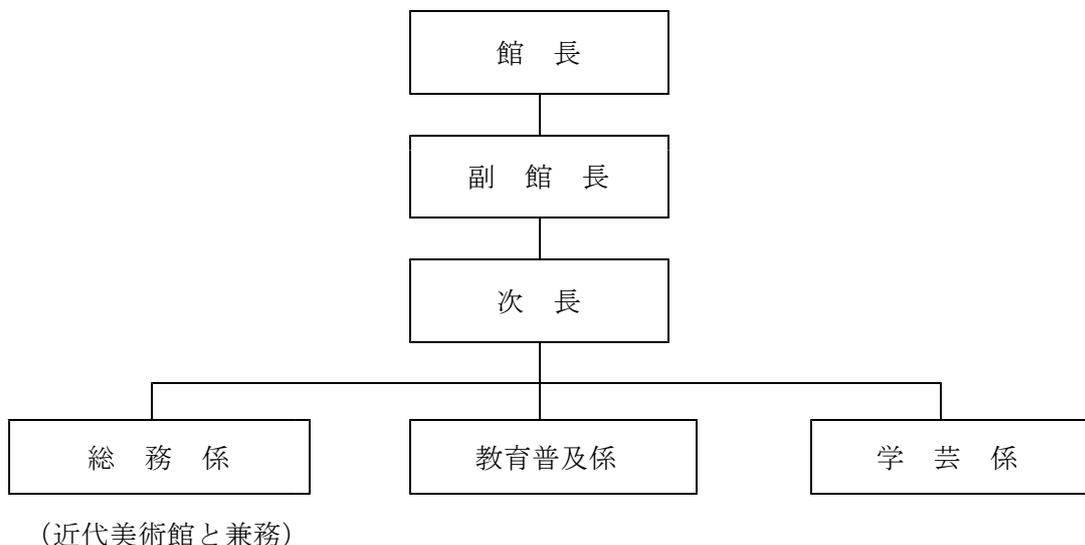
(4) 資料の掲載許可

下記の資料28件について、掲載許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古	歴史	美工	民俗	その他	計
		写真: 他					
1	浅間焼吾妻川利根川泥押絵図 画像データ1点		1				1
2	形象埴輪 馬 (上野塚廻り古墳群出土品埴輪、第四号墳出土) 画像データ1点	1					1
3	上毛かるた旧札「ろ」絵札 画像データ1点				1		1
4	道満遺蹟 (館林市赤生田町) 出土 S字状口縁台付甕、上州館林城図、「富岡家文書」浅野長吉書状 5月16日付、四季農耕図 画像データ4点			4			4
5	番傘を持つ島隆像 画像データ1点			1			1
6	蚕稲荷神社 御札2点、福寿庵 鼠除け御札1点、三峰神社 鼠除け御札2点 画像データ5点				5		5
7	三人童女の埴輪・綿貫観音山古墳の空撮写真・綿貫観音山古墳出土の水瓶 画像データ3点	3					3
8	上州権田村 小栗上野介追討 の画像データ1点		1				1
9	「版画上州富岡製糸場図」の画像データ1点			1			1
10	桐生新居家文書「喜左衛門役用日記」四番・五番 画像データ一式		一式				一式
11	慶長4年11月27日付 加藤清正書状『下川家文書』		1				1
12	天正9年2月4日付 武田家印判状 (高山文書) 1点			1			1
13	江戸時代の羽子板				1		1
14	浅間焼吾妻川利根川泥押絵図 画像データ1点		1				1
15	塚廻り4号墳出土 大刀を持つ女子	1					1
16	群馬県綿貫観音山古墳出土品のうち馬形埴輪	1					1
17	享保雛				1		1
18	重要文化財 群馬県綿貫観音山古墳出土 獣帯鏡 1点・同 金銀装頭椎 1点、玄室内遺物出土状況図	3					3
19	文化庁蔵「上野塚廻り古墳出土埴輪のうち、馬 (第四号墳出土)」1点、群馬大学教育学部蔵「高塚古墳出土武人埴輪」1点	2					2
20	猫絵 (新田岩松源能純、新田義貞之嫡宗徒俊純、新田源俊純、源温純、新田勝利、掛け軸 新田猫、新田貞康) 計7点				7		7
21	上州館林城図		1				1
22	群馬県下仁田小坂の斎藤家から出土した渡来銭 (展示風景写真)			1			1
23	松平直恒画像 (六代目・俊徳院) (孝顕寺蔵) 画像データ1点		1				1
24	重要文化財 群馬県綿貫観音山古墳出土品のうち、埴輪 馬、埴輪 掛甲に身をかためる男子 画像データ計2点	2					2
25	鍾馗のぼり				1		1
26	綿貫観音山古墳出土 銀錯龍文大刀 画像データ1点	1					1
27	綿貫観音山古墳出土 浮彫式獣帯鏡 1面	1					1
28	版画上州富岡製糸場図 画像データ1点		1				1

Ⅱ 組織及び運営(平成31年4月1日現在)

1 運営組織



2 歳出・歳入決算概要

(1) 歴史博物館費

単位：千円

事業名	決算額	内 訳			左のうち特定財源	
		事項名	内 容	金額	金額	内 訳
歴史博物館運営	133,290	嘱託職員経費	館長他嘱託職員人件費	29,970	72	雇用保険料個人負担分
		館管理運営	施設設備保守、光熱水費他事務経費	103,320		
博物展示	45,884	常設展示	展示制作・写真撮影	6,162	3,510 14,957	図録販売収入 歴博入館料
		企画展示	展示制作	39,722		
教育普及活動	3,161	学校教育連携推進	学校向け展示見学用資料作成	1,485		
		れきはくアカデミー	学校向け及び一般向け体験学習実施	1,676		
調査研究	7,375	資料収集管理	資料収集、収蔵品管理、資料情報システムの運用	1,246	64	紀要販売収入
		調査研究活動	資料調査、研究紀要作成	5,478		
		情報システム整備	収蔵資料管理・公開システムの構築	651		
合計	189,710				18,603	

群馬県立歴史博物館 年報
第41号（平成31年度/令和元年度版）

令和2年 6月30日発行

発行：群馬県立歴史博物館

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1

TEL (027) 346-5522

FAX (027) 346-5534